

**大阪市の自殺の状況：
その推移と令和 6 年の現況**

大阪市の自殺の状況:その推移と令和6年の現況 目次

1. 全国の自殺者数の推移	1	ページ
2. 全国の自殺死亡率の推移	2	ページ
3. 大阪市の自殺者数の推移	3	ページ
4. 大阪市の自殺死亡率の推移	4	ページ
5. 年齢別・男女別自殺者数	5	ページ
6. 原因別・男女別自殺者数	7	ページ
7. 職業別・男女別自殺者数	9	ページ
8. 既遂者における自殺未遂の有無・男女別自殺者数	11	ページ
9. 同居人の有無・男女別自殺者数	13	ページ
10. 場所別・男女別自殺者数	15	ページ
11. 手段別・男女別自殺者数	17	ページ
12. 曜日別・男女別自殺者数	19	ページ
13. 発見時間帯別・男女別自殺者数	21	ページ

※1から4については人口動態統計(H15～R6)により作成

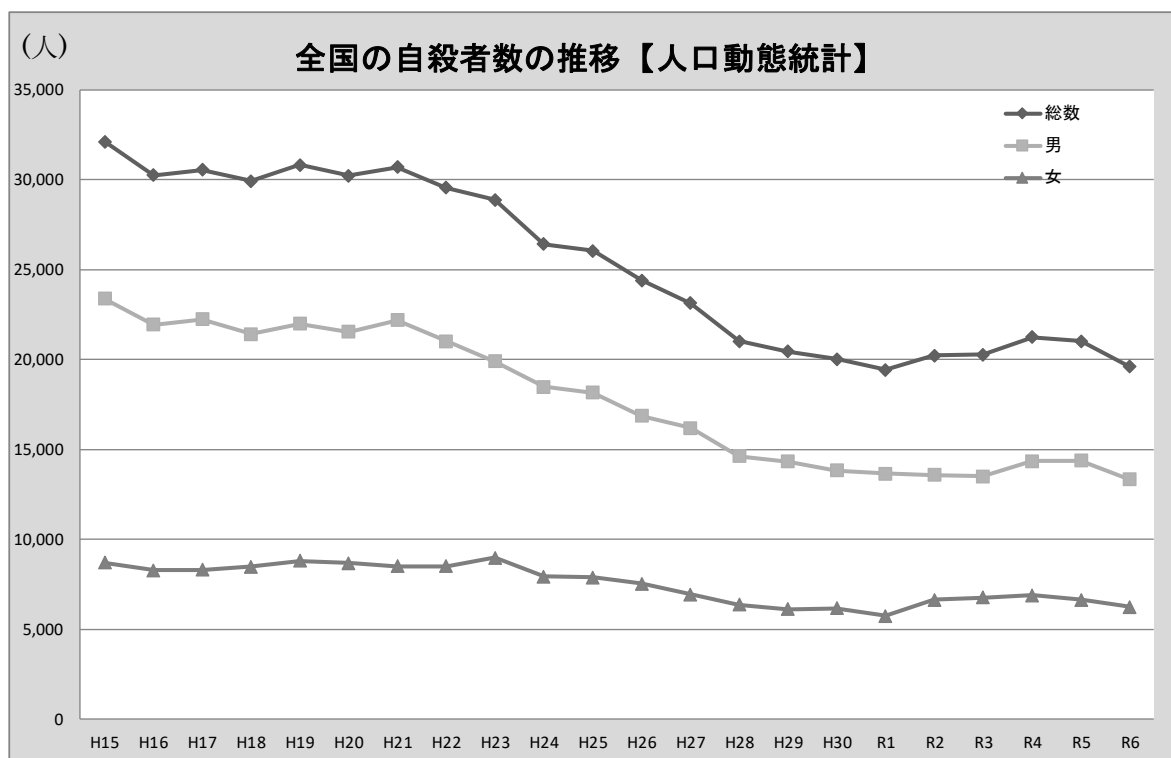
※5から13については厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」(自殺日・住居地で集計された資料)により作成

1. 全国の自殺者数の推移（人口動態統計：H15～R6）

男女総計：自殺死亡者数は、昭和 55 年（1980 年）以降概ね年間 2 万人から 2 万 5 千人の間で推移していたが、平成 10 年（1998 年）に急増し、戦後初めて 3 万人（31,755 人）を超えた。その後も増減しながら平成 21 年までは概ね年間 3 万人前後で推移し、平成 23 年以降は減少傾向を維持し、平成 27 年には急増前の平成 9 年を下回るまで減少したが、令和 2 年に増加に転じ 2 万人前後を推移している。

男性：平成 10 年以降では、男性の自殺死亡数は女性のほぼ 2～3 倍で推移しており、男女総計の自殺死亡の傾向は男性の傾向とほぼ同様となっている。

女性：平成 10 年に 9 千人台に増加したが、平成 12 年以降は 8 千人台で推移し、男性と同様に平成 23 年以降は一貫して減少傾向を維持しており、平成 27 年以降は急増前の平成 9 年の 7 千人台を下回る 6 千人台まで減少し、令和元年には 5 千人台まで減少したが、令和 2 年以降は 6 千人台に増加した。



全国の自殺者数の推移

年次別	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
総数	32,109	30,247	30,553	29,921	30,827	30,229	30,707	29,554	28,896	26,433	26,063	24,417	23,152	21,017	20,465	20,031	19,425	20,243	20,291	21,252	21,037	19,608
男	23,396	21,955	22,236	21,419	22,007	21,546	22,189	21,028	19,904	18,485	18,158	16,875	16,202	14,639	14,333	13,851	13,668	13,588	13,508	14,362	14,388	13,354
女	8,713	8,292	8,317	8,502	8,820	8,683	8,518	8,526	8,992	7,948	7,905	7,542	6,950	6,378	6,132	6,180	5,757	6,655	6,783	6,890	6,649	6,254

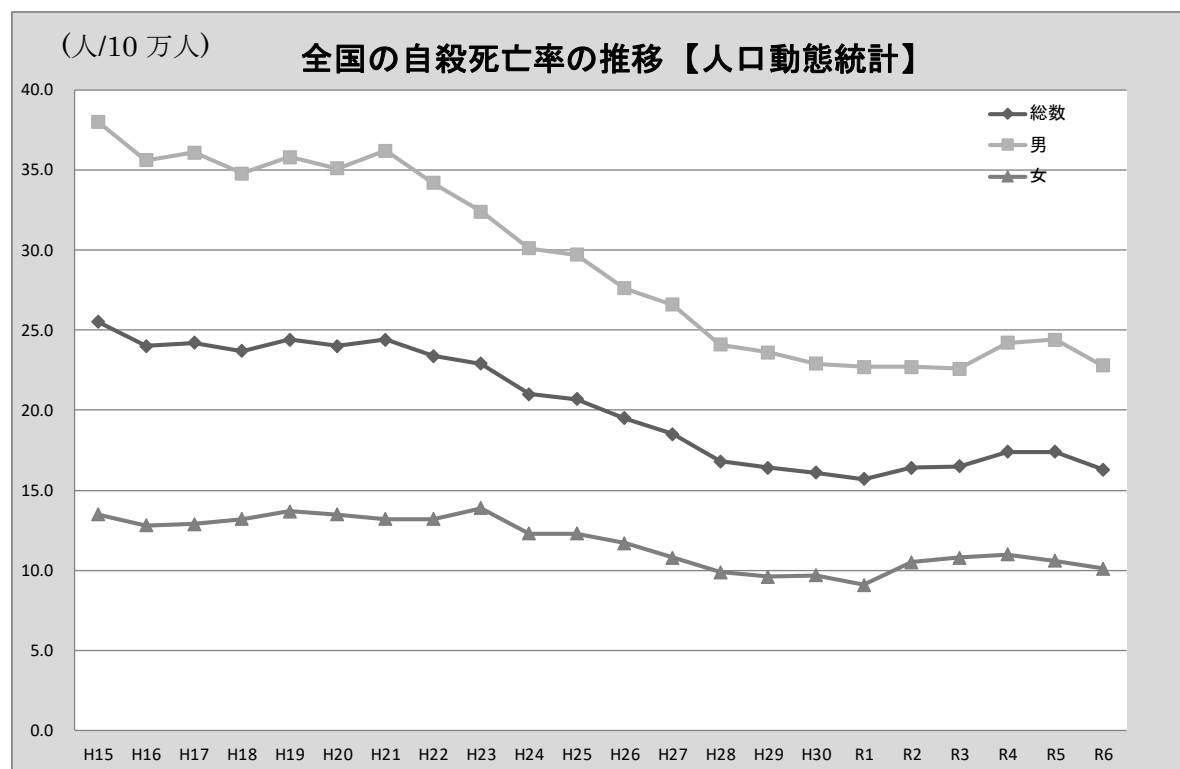
資料:「人口動態統計」より

2. 全国の自殺死亡率の推移（人口動態統計：H15～R6）

男女総計：傾向は自殺死亡者数と同様であり、昭和 55 年（1980 年）以降は増加した年でも人口 10 万人当たり（以下単位同様）22 未満で推移していたが、平成 10 年（1998 年）に急増し（25.4）、その後増減しながら平成 22 年までは概ね 23～24 台で推移し、平成 23 年以降は減少傾向を維持している。平成 27 年に急増前の平成 9 年（18.8）を下回るまで減少しその後も減少が続いていたが、令和 2 年に増加に転じた。以降は増加の傾向が続いていたが、令和 6 年に再び減少に転じた。平成 15 年から令和 6 年の減少率は 36.1%となっている。

男性：平成 10 年以降では、男性の自殺死亡率は女性のほぼ 2～3 倍で推移しており、男女総計の自殺死亡率の傾向は男性のそれとほぼ同様となっている。平成 15 年から令和 5 年の減少率は 40.0%となっている。

女性：平成 10 年に増加したものの、平成 12 年以降は 12～13 台で推移し、男性と同様に平成 23 年以降は減少傾向を維持しており、平成 26 年以降は急増前の平成 9 年（11.9）を下回り平成 28 年以降は一桁台を維持していたが、令和 2 年に増加に転じ二桁台となった。平成 15 年から令和 6 年の減少率は 25.2%となっている。



全国の自殺死亡率の推移

年次別	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
総数	25.5	24.0	24.2	23.7	24.4	24.0	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5	18.5	16.8	16.4	16.1	15.7	16.4	16.5	17.4	17.4	16.3
男	38.0	35.6	36.1	34.8	35.8	35.1	36.2	34.2	32.4	30.1	29.7	27.6	26.6	24.1	23.6	22.9	22.7	22.7	22.6	24.2	24.4	22.8
女	13.5	12.8	12.9	13.2	13.7	13.5	13.2	13.2	13.9	12.3	12.3	11.7	10.8	9.9	9.6	9.7	9.1	10.5	10.8	11.0	10.6	10.1

資料:「人口動態統計」より

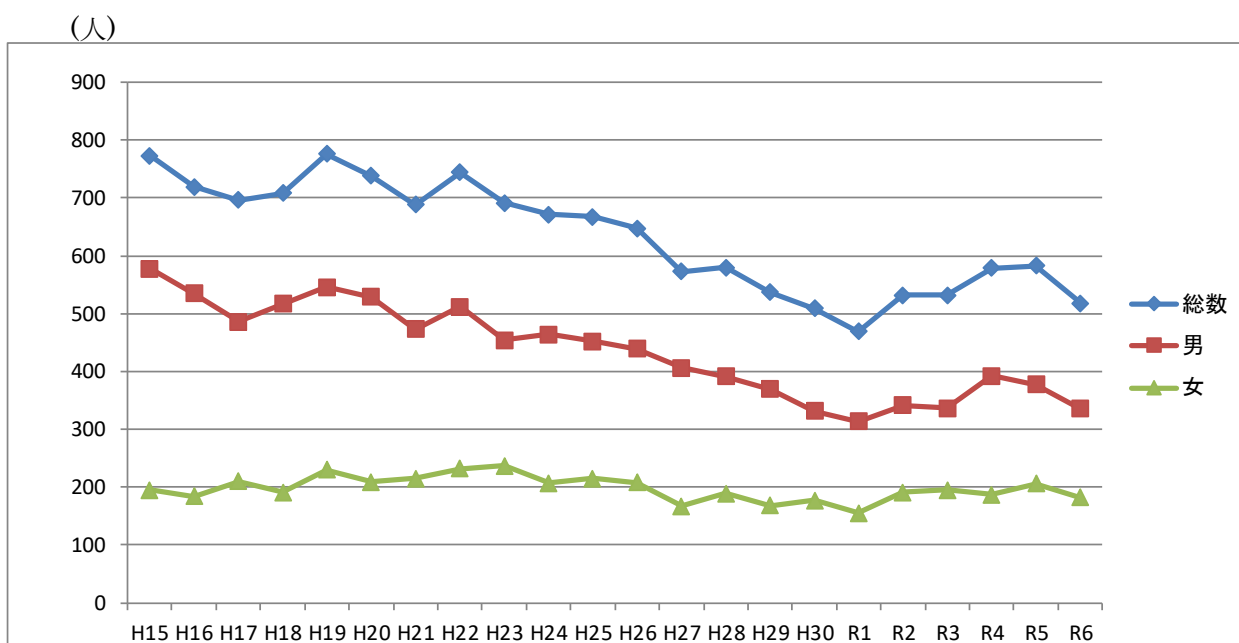
3. 大阪市の自殺者数の推移（人口動態統計：H15～R6）

男女総計：全国の傾向と同様に、平成9年の525人から平成10年に年間876人と急増したが、平成11年から全国に先駆けて減少し始めた。その後、全国の自殺死亡数は平成21年まではほぼ横ばいであったのに対して、大阪市の自殺死亡数は平成17年には、一旦年間700人を下回り、その後微増と微減を繰り返しながら、平成22年まではほぼ横ばいに経過した。平成23年以降は、全国値の傾向と同様に減少傾向を維持し700人未満となり、平成30年には急増する前の平成9年を下回り、令和元年には460人台まで減少したが、令和2年以降は増加に転じ、500人台となっている。

男性：男女総計とほぼ同様の傾向となっている。

女性：平成9年から平成10年に増加したものの、以降は200人前後の横ばいで推移していた。平成17年からは増加傾向に転じ、平成23年までは230人台となる年も続いた。平成27年以降は200人未満で増減していたが、令和2年以降は200人前後の横ばいで推移している。

大阪市の自殺者数の推移（人口動態統計）



自殺者数の推移

年次別	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
総数	773	719	696	708	776	738	688	744	691	671	667	647	573	580	537	509	469	532	532	579	583	518
男	578	535	486	517	546	529	473	512	454	464	452	439	406	391	369	332	314	341	337	392	377	336
女	195	184	210	191	230	209	215	232	237	207	215	208	167	189	168	177	155	191	195	187	206	182

資料：「人口動態統計」より

4. 大阪市の自殺死亡率の推移（人口動態統計：H15～R6）

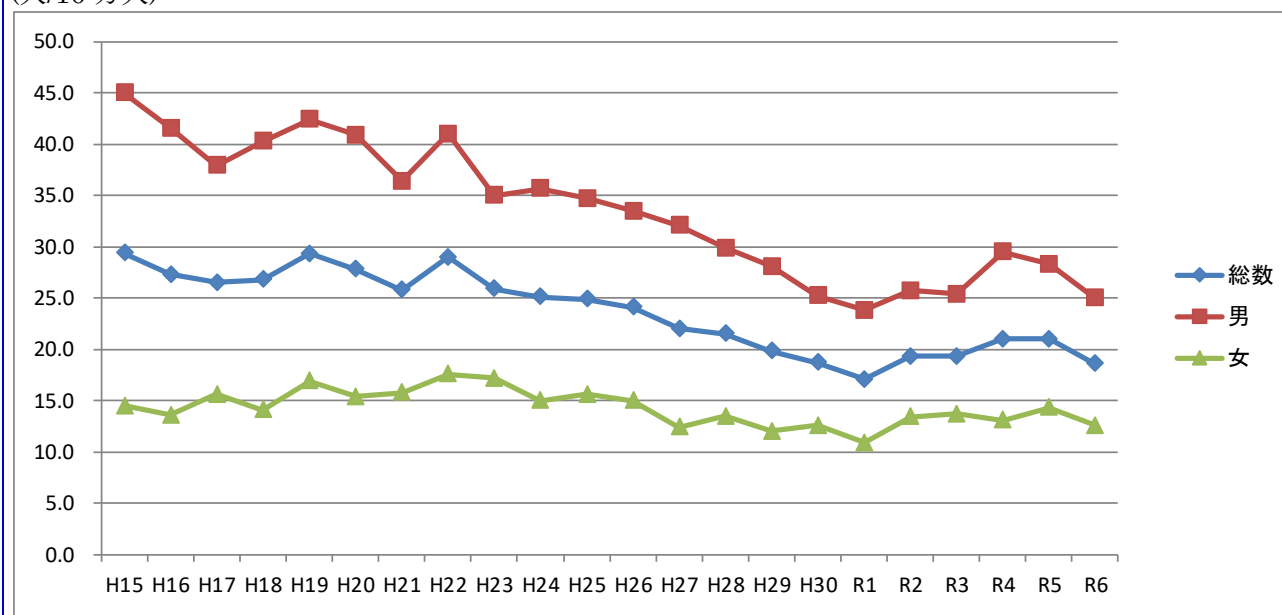
男女総計：全国の傾向と同様に平成10年に急増したが、平成12年から全国に先駆けて減少し始めた。その後、全国の自殺死亡率は平成21年まで微減であったのに対して、大阪市の自殺死亡率は平成17年には、平成10年の値の20%減少となった。その後微増と微減を繰り返しながら、平成22年まではほぼ横ばいに経過したが、平成23年以降は全国値の傾向と同様に減少傾向を維持し、令和元年には急増前の平成9年よりも低い17.1となったが、令和2年以降は増加傾向が続いていた。令和6年には減少に転じ、平成15年から令和6年の減少率は36.7%となっている。

男性：男女総計とほぼ同様の傾向となっている。

女性：令和6年は減少に転じている。

大阪市の自殺死亡率の推移（人口動態統計）

（人/10万人）



自決死亡率の推移

年次別	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
総数	29.4	27.3	26.5	26.8	29.3	27.8	25.8	29.0	25.9	25.1	24.9	24.1	22.0	21.5	19.8	18.7	17.1	19.3	19.3	21.0	21.0	18.6
男	45.0	41.6	37.9	40.3	42.4	40.9	36.4	41.0	35.0	35.7	34.7	33.5	32.1	29.9	28.1	25.2	23.8	25.7	25.4	29.5	28.3	25.0
女	14.5	13.6	15.6	14.1	16.9	15.4	15.8	17.6	17.2	15.0	15.6	15.0	12.4	13.5	12.0	12.6	10.9	13.4	13.7	13.1	14.3	12.6

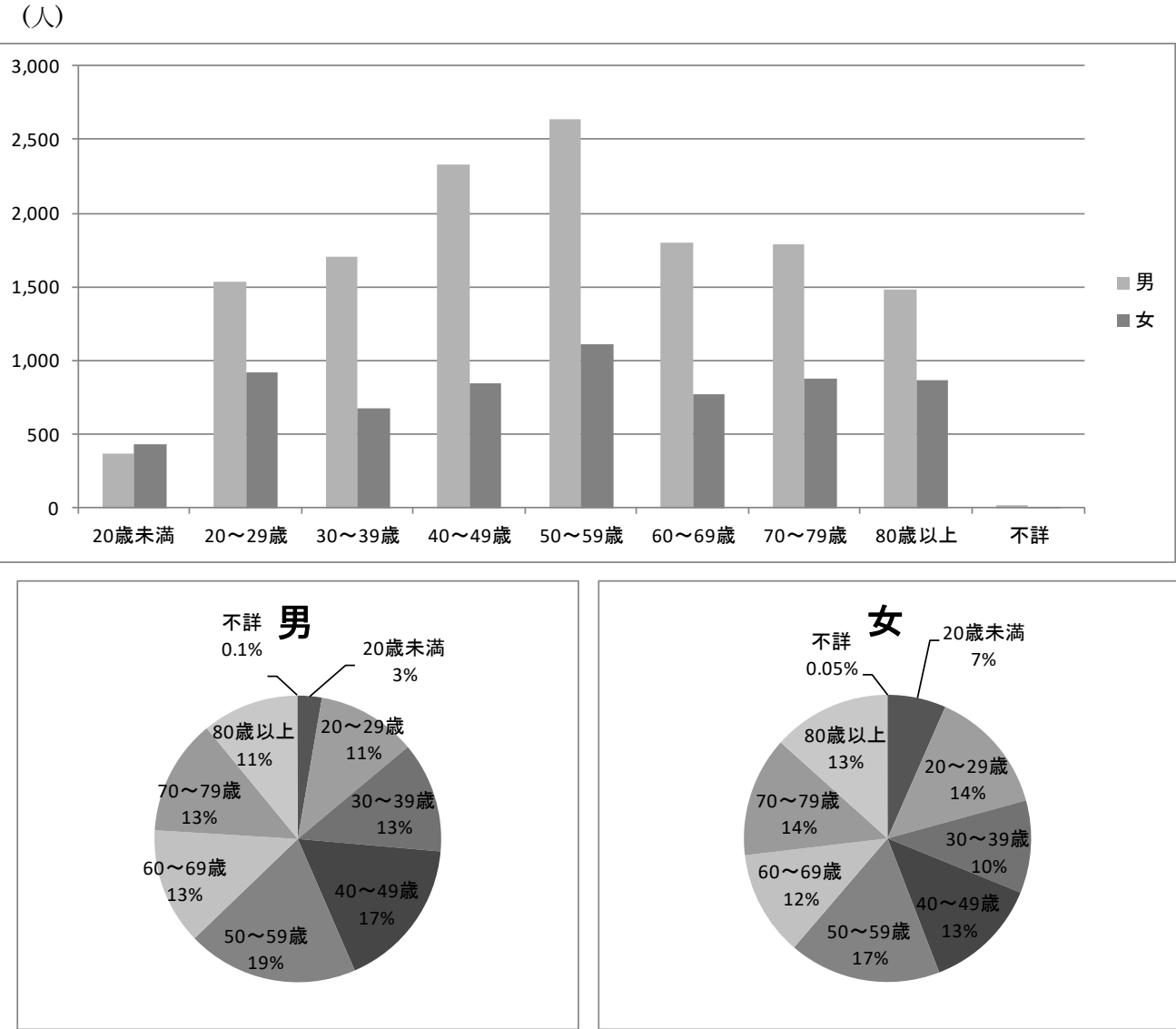
資料：「人口動態統計」より

5－1. 年齢別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

令和6年の全国の自殺者数 20,117 人（男性 13,635 人（68%）、女性 6,482 人（32%））を年齢別にみると、50 歳代が最も多く 3,745 人（19%）、次いで 40 歳代 3,172 人（16%）、70 歳代 2,660 人（13%）となっている。

男性では 50 歳代、40 歳代、60 歳代の順に多く、女性では 50 歳代、20 歳代、70 歳代の順に多くなっている。

令和6年 年齢別・男女別の自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国



年齢別男女別

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳	計
計	795	2,447	2,377	3,172	3,745	2,562	2,660	2,339	20	20,117
男	368	1,530	1,701	2,331	2,634	1,794	1,783	1,477	17	13,635
女	427	917	676	841	1,111	768	877	862	3	6,482

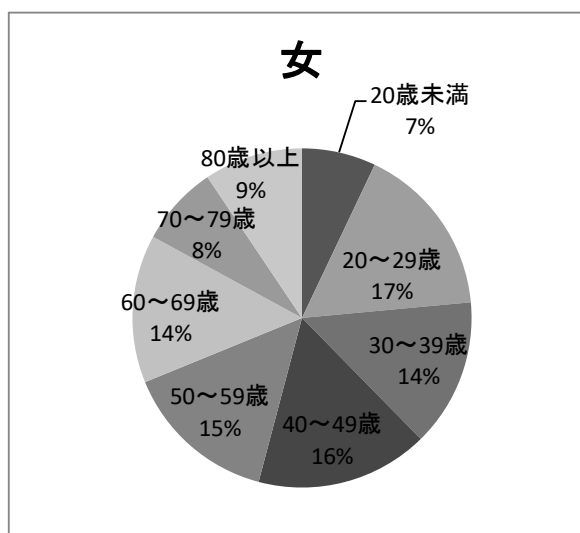
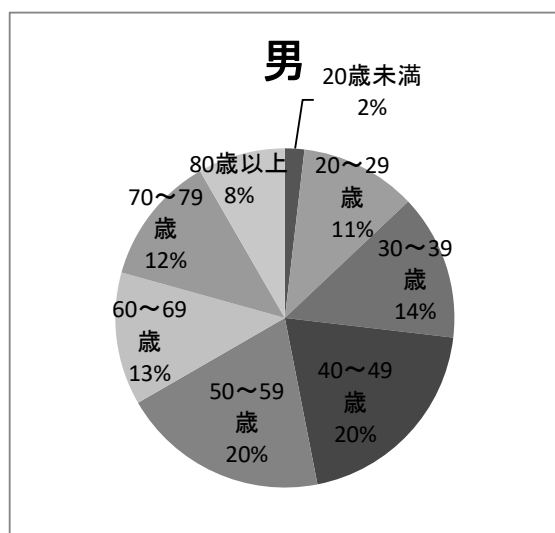
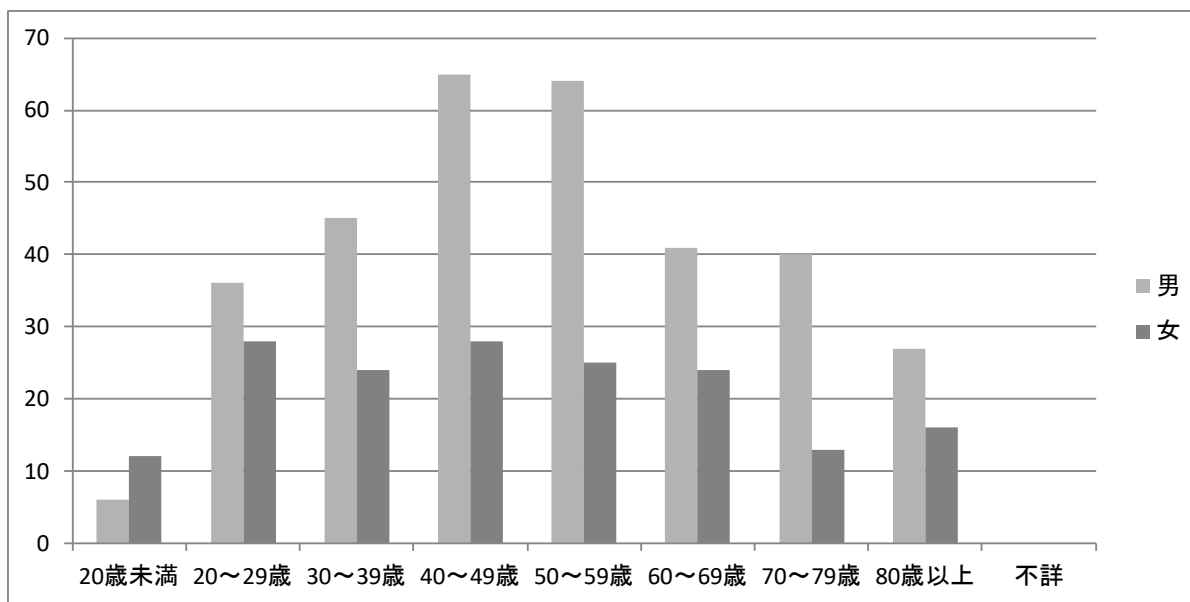
5-2. 年齢別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

令和6年の本市の自殺者数 494 人（男性 324 人（66%）、女性 170 人（34%））を年齢別にみると、40 歳代が最も多く 93 人（19%）、次いで 50 歳代 89 人（18%）、30 歳代 69 人（14%）となっている。

男性では 40 歳代、50 歳代、30 歳代の順に多く、女性では 20 歳代及び 40 歳代、50 歳代、30 歳代及び 60 歳代の順に多くなっている。

令和6年 年齢別・男女別の自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

（人）



年齢別男女別

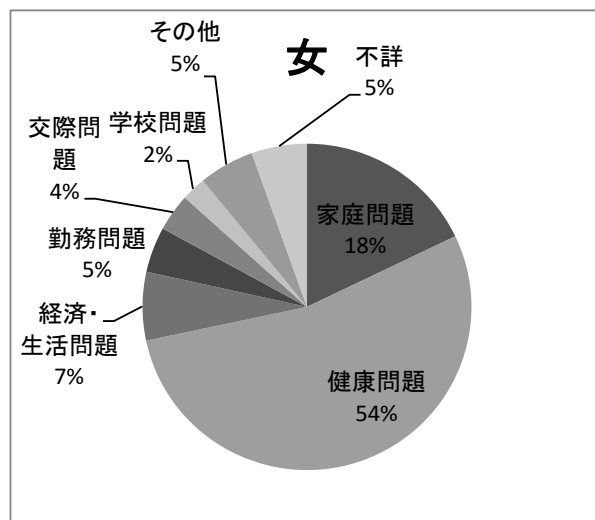
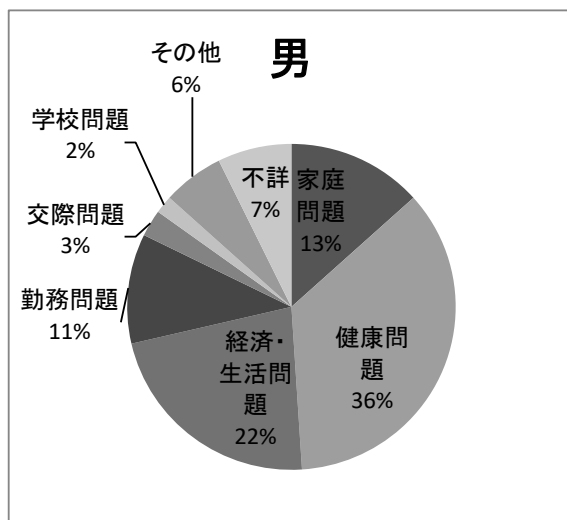
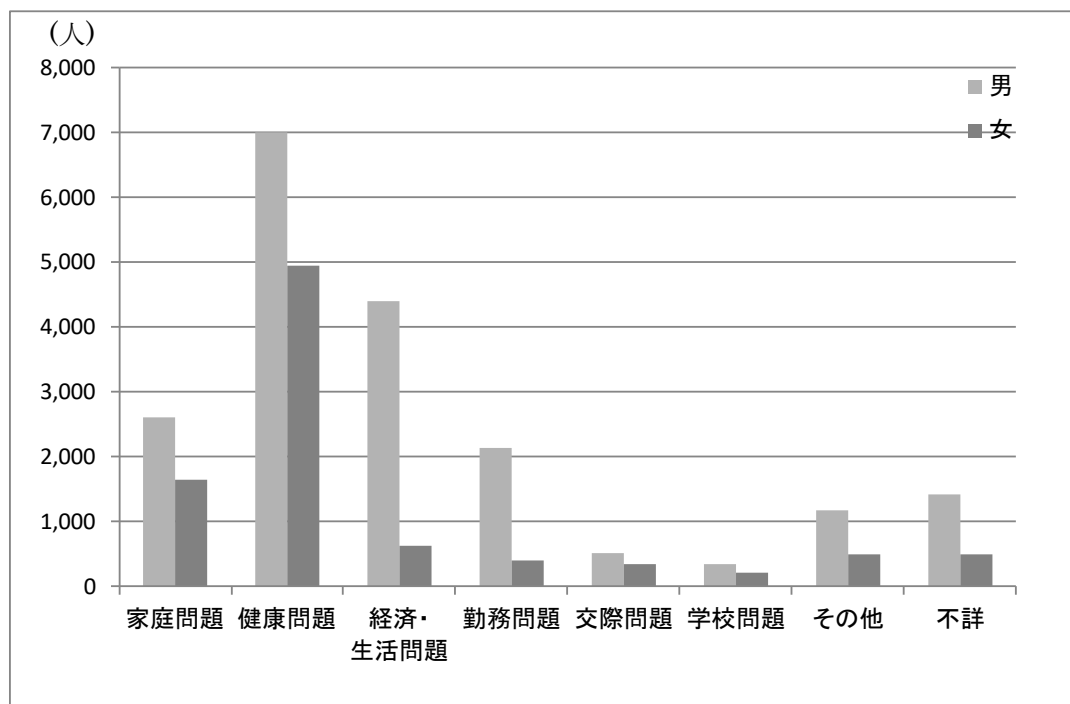
年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不詳	計
計	18	64	69	93	89	65	53	43	0	494
男	6	36	45	65	64	41	40	27	0	324
女	12	28	24	28	25	24	13	16	0	170

6－1. 原因別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国 （遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を、自殺者一人につき3つまで計上可能としている。）

自殺の原因・動機としては、「健康問題」が11,943人（41％）と最も多く、次いで「経済・生活問題」5,020人（17％）、「家庭問題」4,260人（15％）となっている。

男女別でみると、男女とも「健康問題」が最も多く、次に男性は「経済・生活問題」が多いのに対し、女性は「家庭問題」が多くなっている。

令和6年 原因別・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国



原因別・男女別

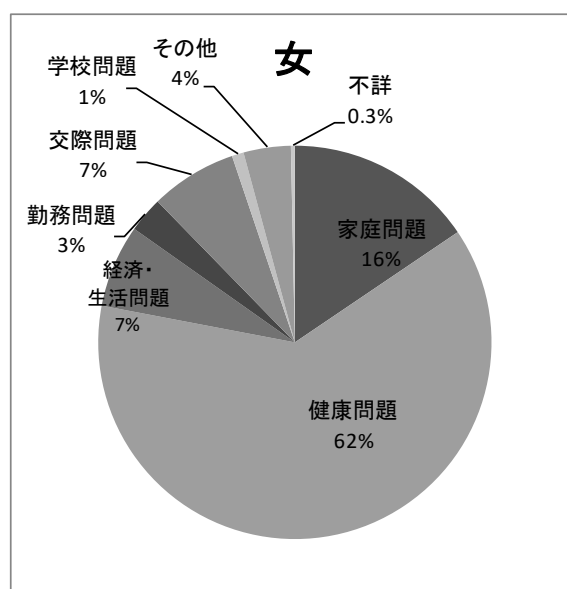
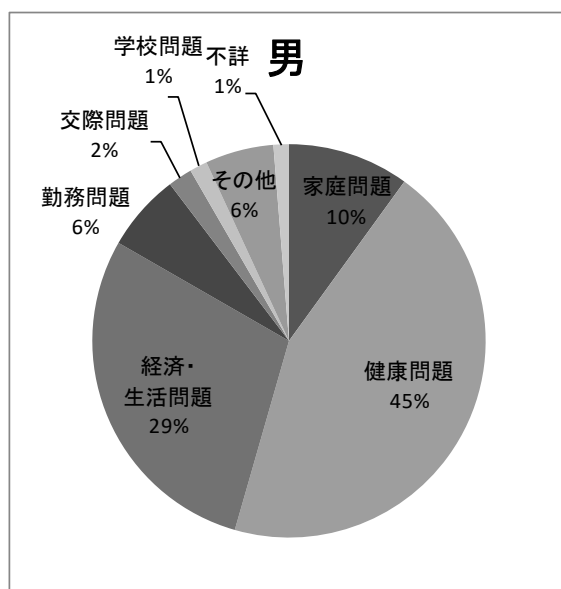
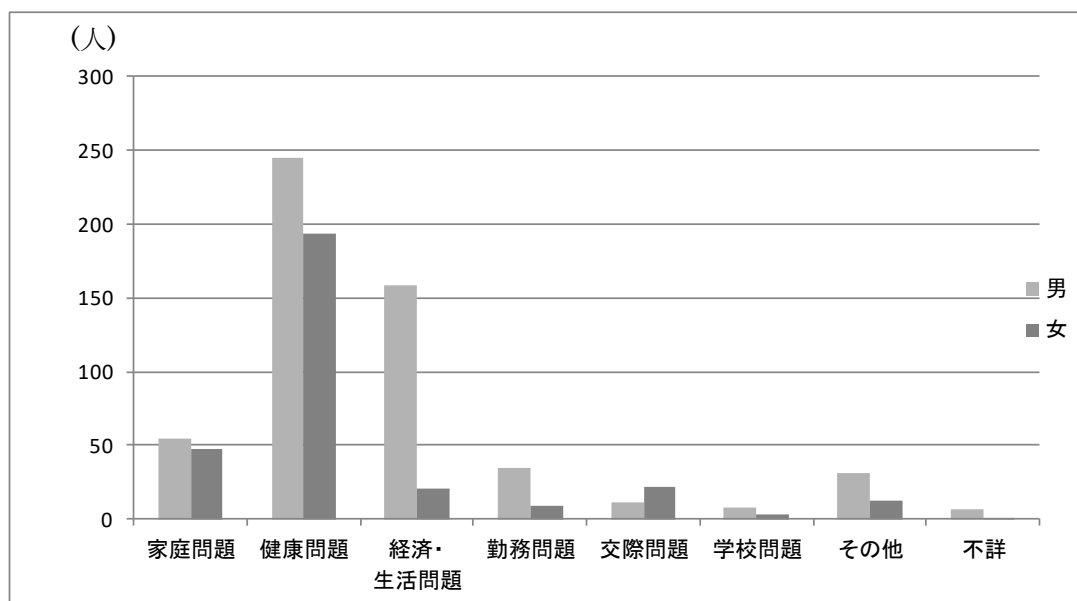
原因	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳	計
計	4,260	11,943	5,020	2,551	862	567	1,688	1,931	28,822
男	2,616	6,997	4,396	2,137	521	346	1,185	1,430	19,628
女	1,644	4,946	624	414	341	221	503	501	9,194

6-2. 原因別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市 （遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を、自殺者一人につき3つまで計上可能としている。）

自殺の原因・動機としては、「健康問題」が438人（51%）と最も多く、次いで「経済・生活問題」180人（21%）、「家庭問題」103人（13%）となっている。

男女別でみると、男女とも「健康問題」が最も多く、次に男性は「経済・生活問題」が多いのに対し、女性は「家庭問題」が多くなっている。

令和6年 原因別・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市



原因別・男女別

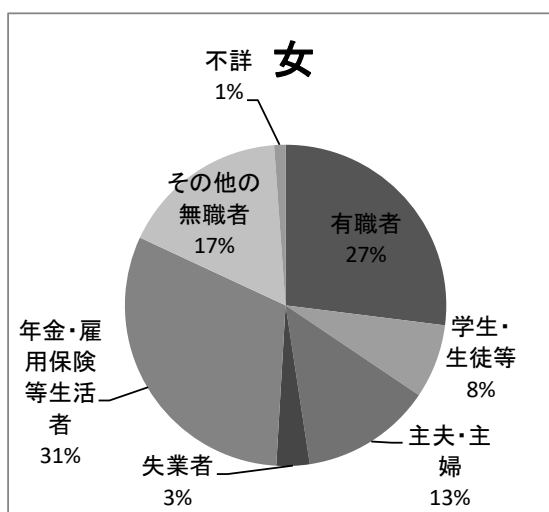
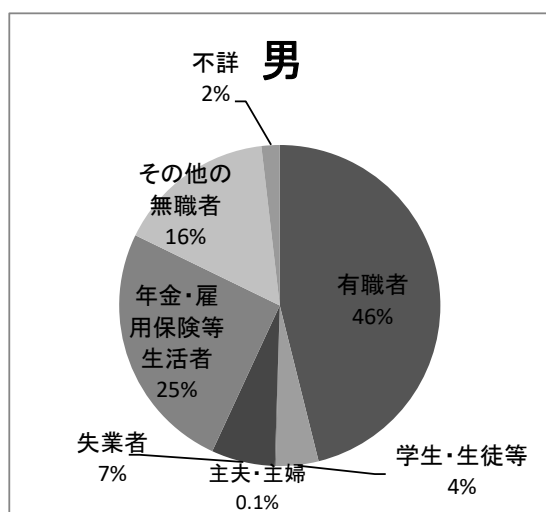
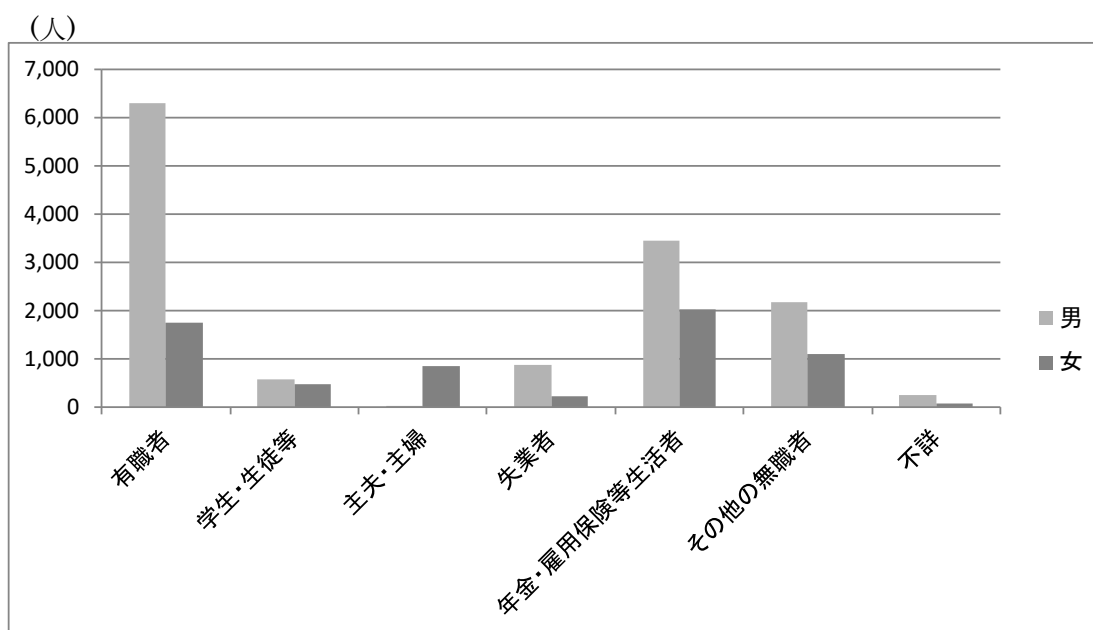
原因	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳	計
計	103	438	180	44	33	11	43	8	860
男	55	245	159	35	11	8	31	7	551
女	48	193	21	9	22	3	12	1	309

7-1. 職業別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

職業別でみると「有職者」が8,036人（40%）と最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が5,460人（27%）、「その他の無職者」3,273人（16%）となっている。

男女別では、男性では「有職者」が最も多く、女性では「年金・雇用保険等生活者」の割合が最も高くなっている。

令和6年 職業別・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国



職業別・男女別

職業	有職者	学生・生徒等	主夫・主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他の無職者	不詳	計
計	8,036	1,067	867	1,090	5,460	3,273	324	20,117
男	6,287	584	14	874	3,450	2,176	250	13,635
女	1,749	483	853	216	2,010	1,097	74	6,482

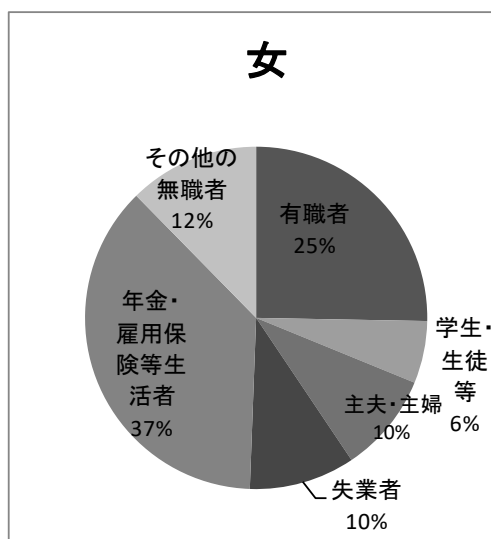
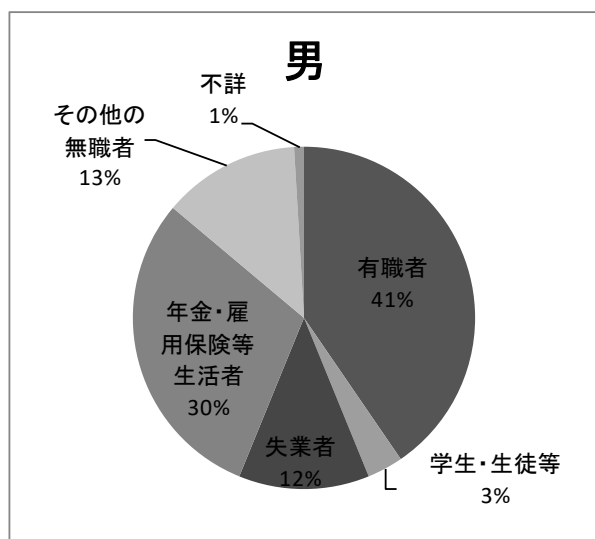
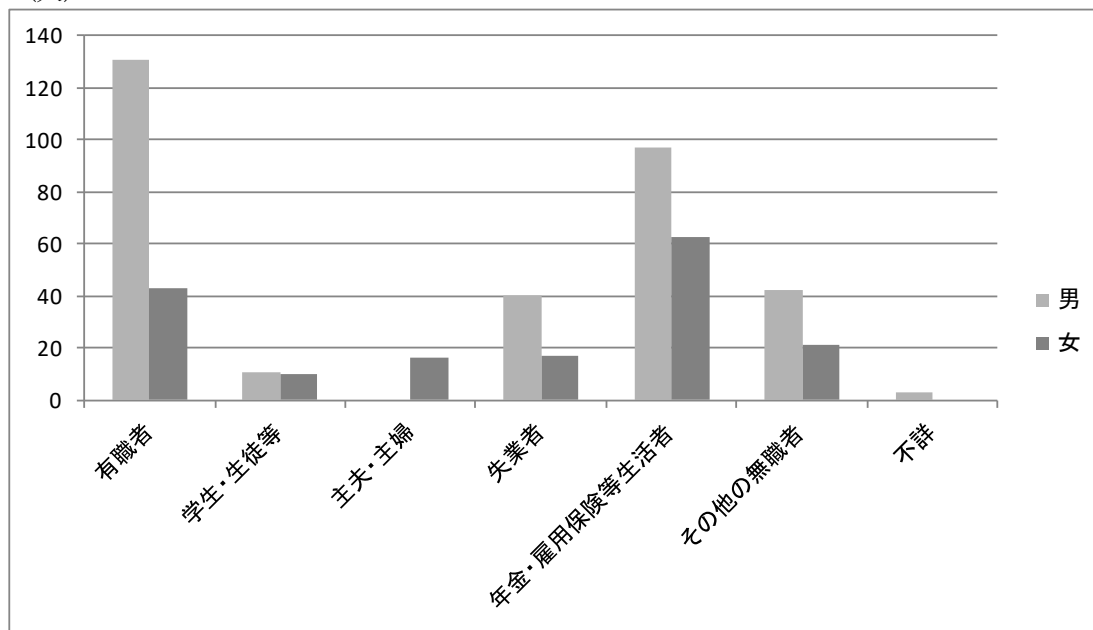
7-2. 職業別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

職業別でみると「有職者」が174人（35%）と最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が160人（32%）、「その他の無職者」が63人（13%）となっている。

男女別では、男性では「有職者」、女性では「年金・雇用保険等生活者」の割合が最も高くなっている。

令和6年 職業別・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

（人）



職業別・男女別

職業	有職者	学生・生徒等	主夫・主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他の無職者	不詳	計
計	174	21	16	57	160	63	3	494
男	131	11	0	40	97	42	3	324
女	43	10	16	17	63	21	0	170

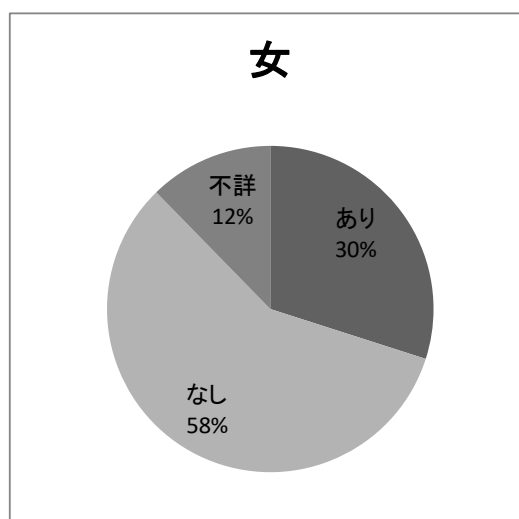
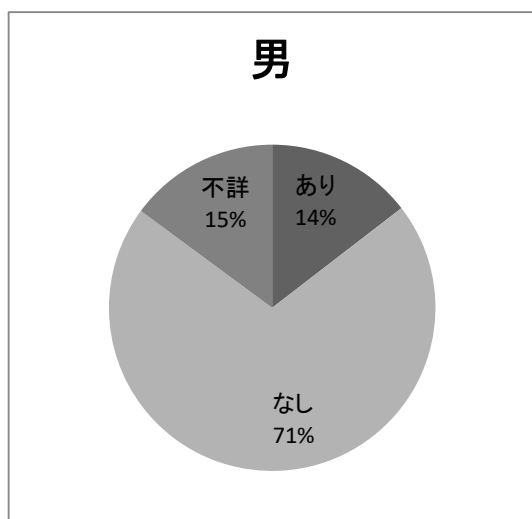
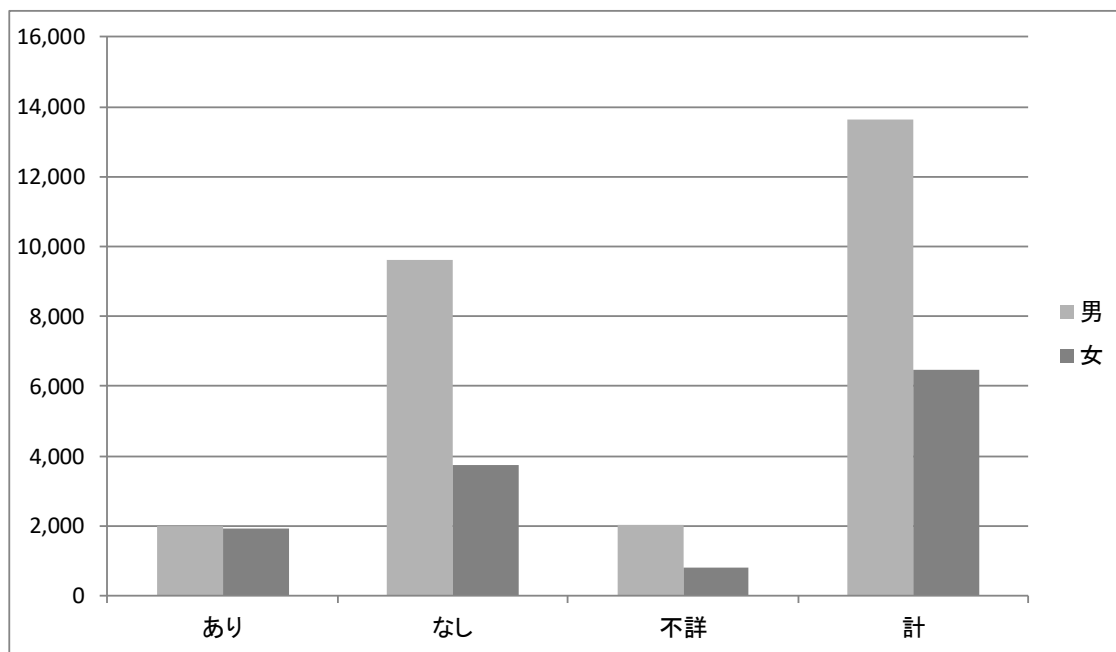
8－１．既遂者における自殺未遂の有無・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

既遂者における自殺未遂の有無別については、自殺未遂歴「あり」が3,924人（20％）であった。

男女別でみると、男性の自殺未遂歴「あり」が1,983人（15％）、女性の自殺未遂歴「あり」が1,941人（30％）であった。

令和6年 既遂者における自殺未遂の有無・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

（人）



既遂者における自殺未遂の有無・男女別

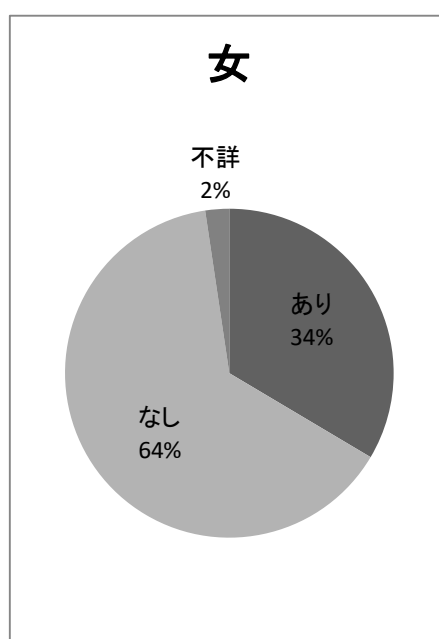
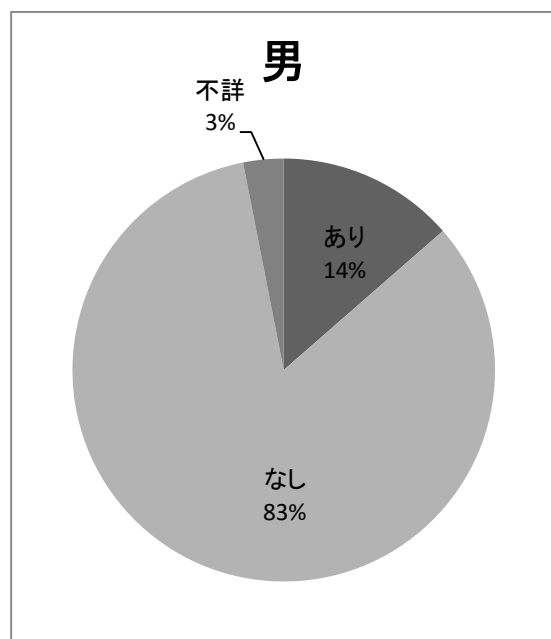
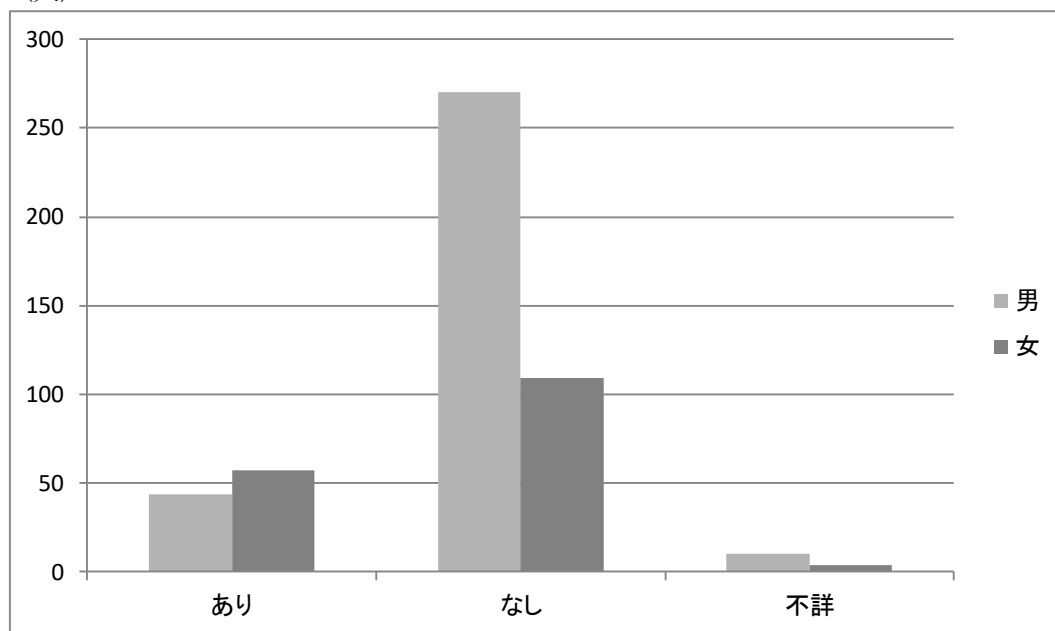
自殺未遂	あり	なし	不詳	計
計	3,924	13,366	2,827	20,117
男	1,983	9,623	2,029	13,635
女	1,941	3,743	798	6,482

8－2．既遂者における自殺未遂の有無・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

既遂者における自殺未遂の有無別については、自殺未遂歴「あり」が101人（20％）であった。
男女別でみると、男性の自殺未遂歴「あり」が44人（14％）、女性の自殺未遂歴「あり」が57人（34％）であった。

令和6年 既遂者における自殺未遂の有無・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

（人）



既遂者における自殺未遂の有無・男女別

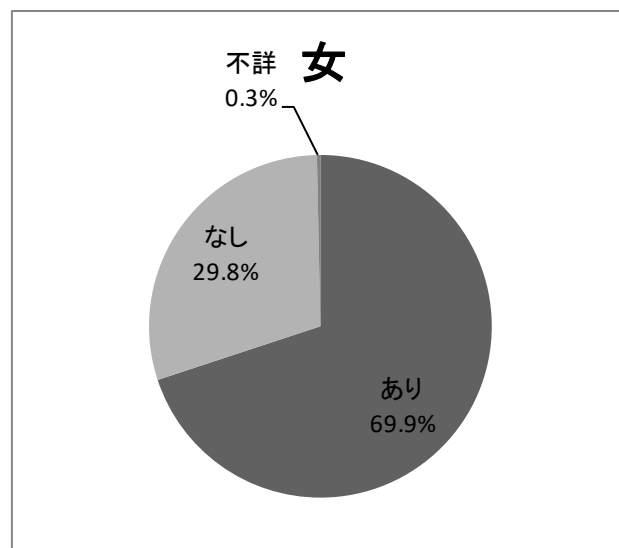
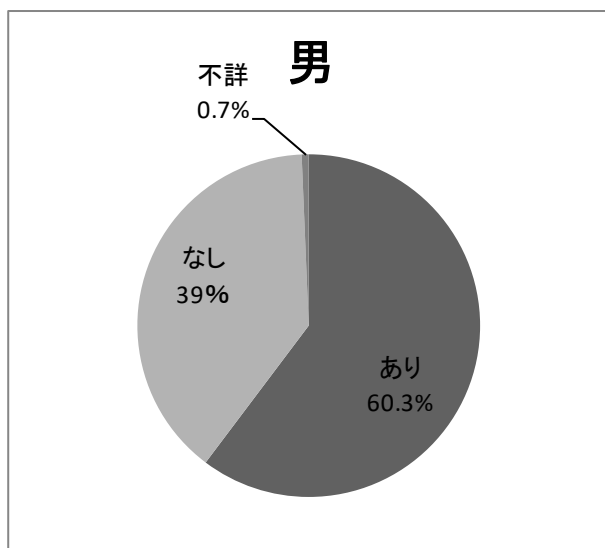
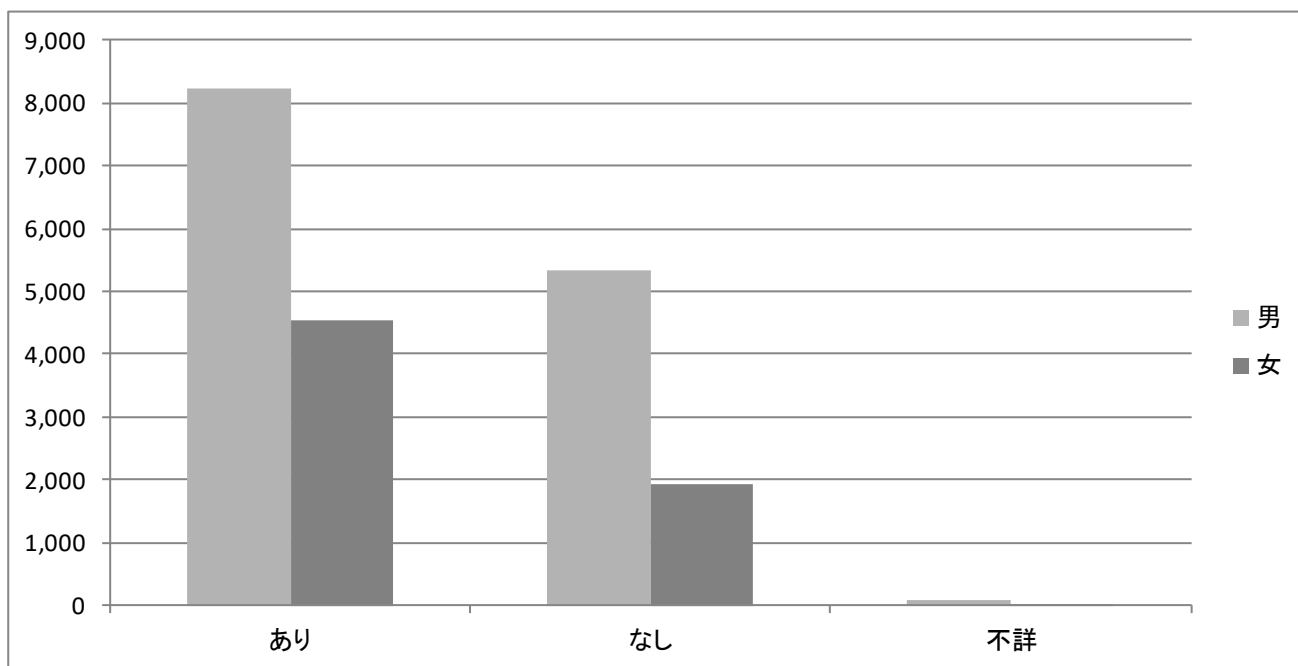
自殺未遂	あり	なし	不詳	計
計	101	379	14	494
男	44	270	10	324
女	57	109	4	170

9-1. 同居人の有無・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

同居人の有無別でみると、「同居人あり」が12,751人（63%）、「同居人なし」が7,255人（36%）となっている。男女別でみると、男女とも「同居人あり」の方が多くなっている。

令和6年 同居人の有無・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

（人）



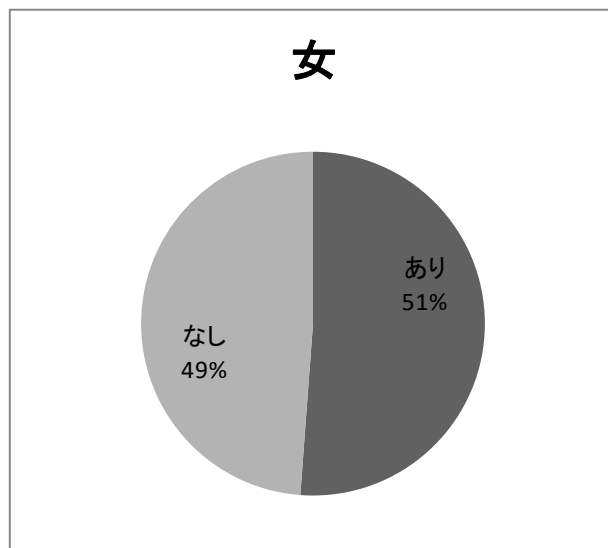
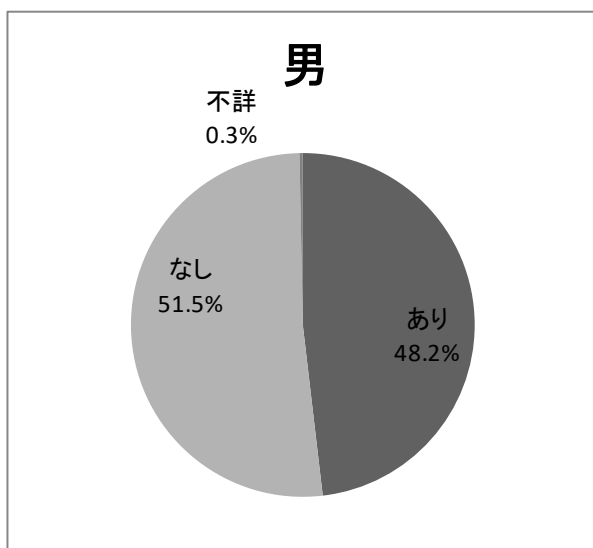
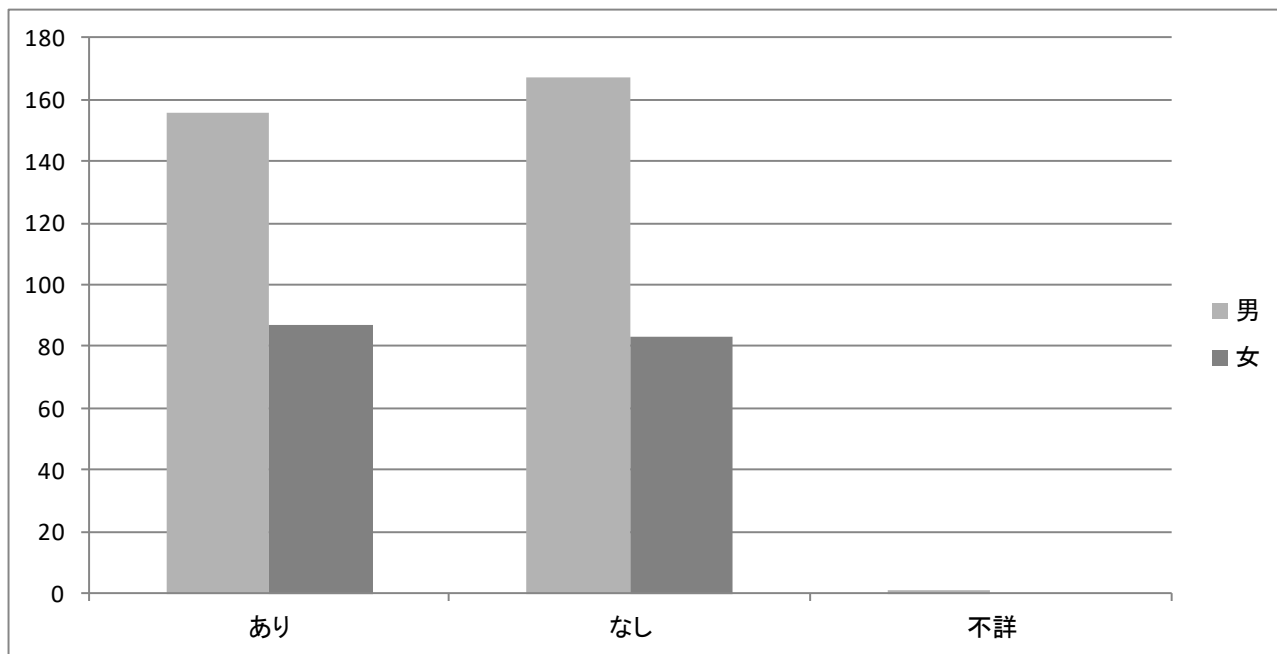
同居人の有無・男女別

同居人	あり	なし	不詳	計
計	12,751	7,255	111	20,117
男	8,218	5,327	90	13,635
女	4,533	1,928	21	6,482

9-2. 同居人の有無・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

同居人の有無別でみると、「同居人あり」が243人（49%）、「同居人なし」が250人（51%）となっている。男女別でみると、男性は「同居人なし」の方が多く、女性は「同居人あり」の方が多い。

令和6年 同居人の有無・男女別（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市 （人）



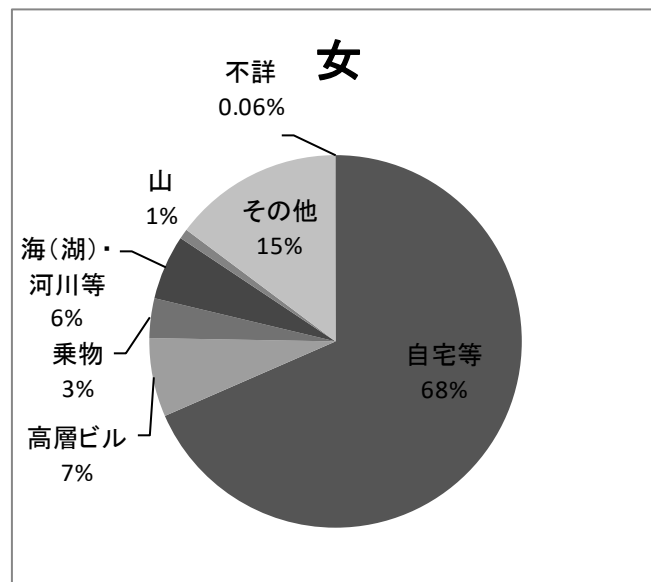
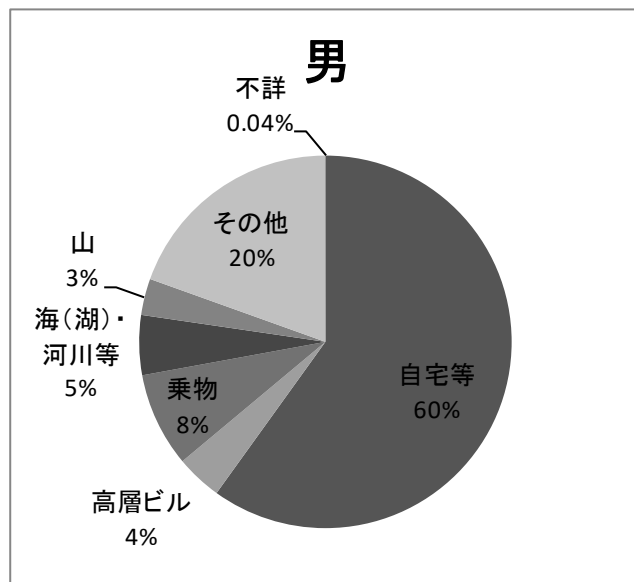
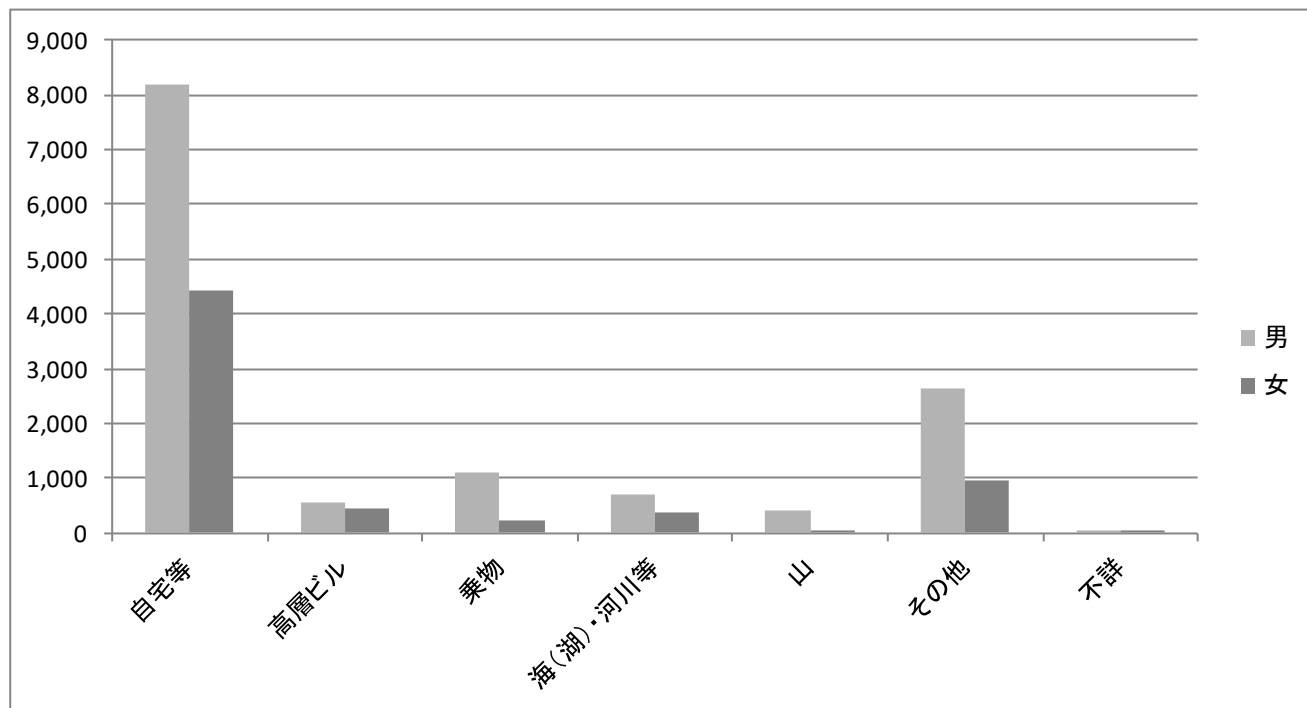
同居人の有無・男女別

同居人	あり	なし	不詳	計
計	243	250	1	494
男	156	167	1	324
女	87	83	0	170

10－１．場所別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

場所別でみると、男女ともに「自宅等」が最も多く、次に男性は「乗物」が多いのに対し、女性は「高層ビル」が多い。

令和6年 場所別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国 (人)



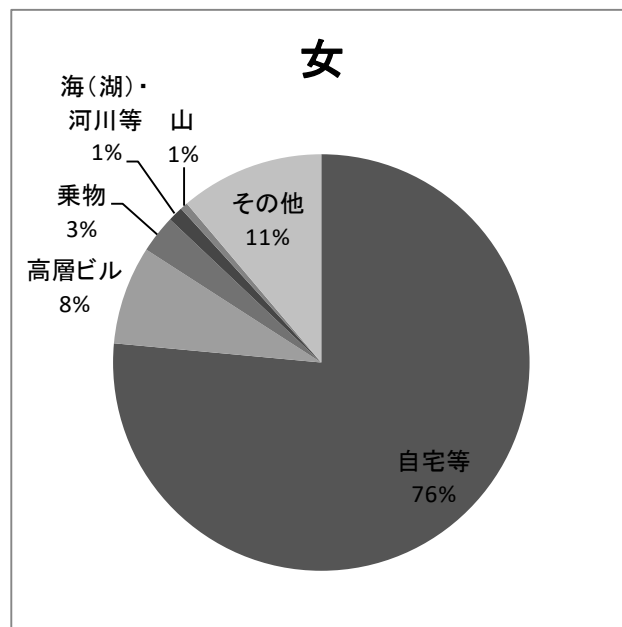
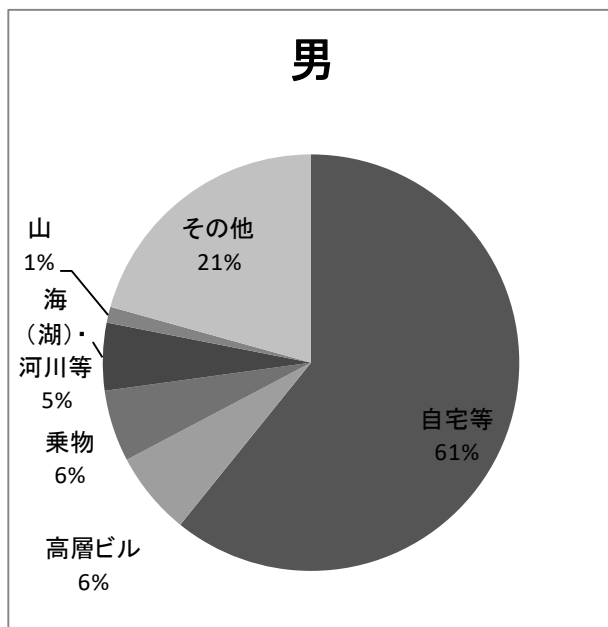
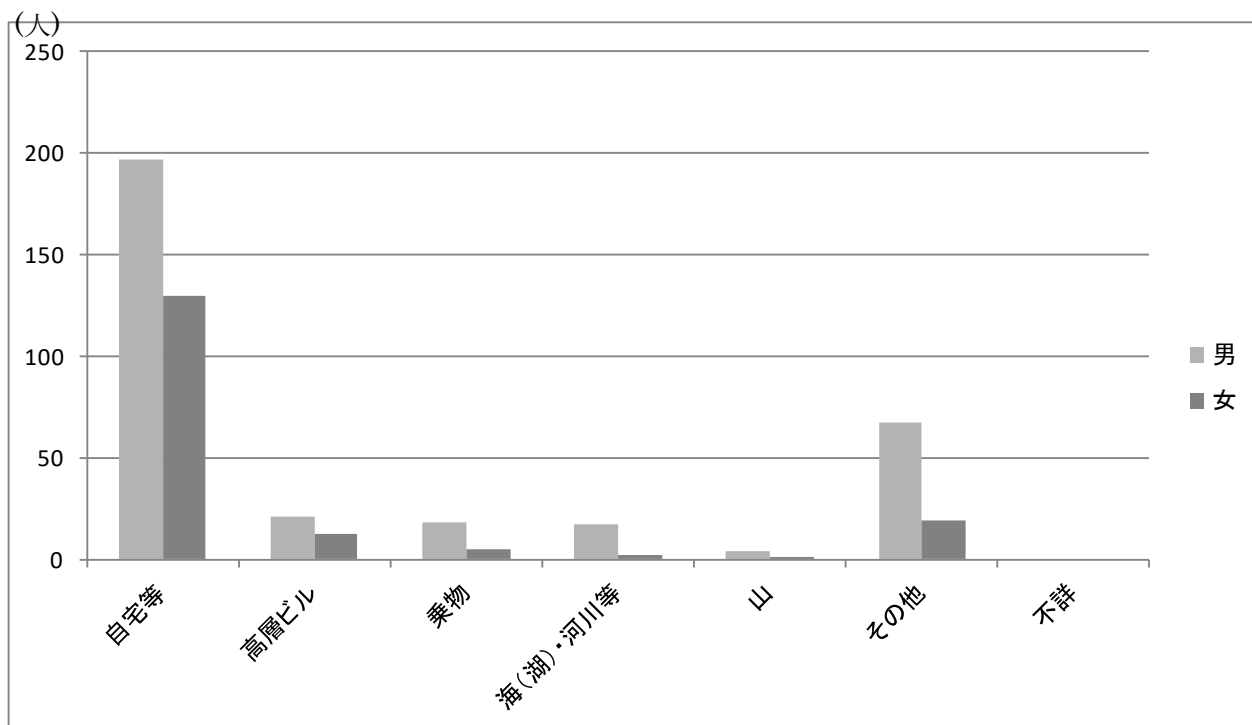
場所別・男女別自殺者数

場所	自宅等	高層ビル	乗物	海(湖)・河川等	山	その他	不詳	計
計	12,609	988	1,340	1,073	487	3,611	9	20,117
男	8,172	545	1,117	708	431	2,657	5	13,635
女	4,437	443	223	365	56	954	4	6,482

10-2. 場所別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

場所別でみると、男女ともに「自宅等」が最も多く、次に「高層ビル」が多い。

令和6年 場所別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市



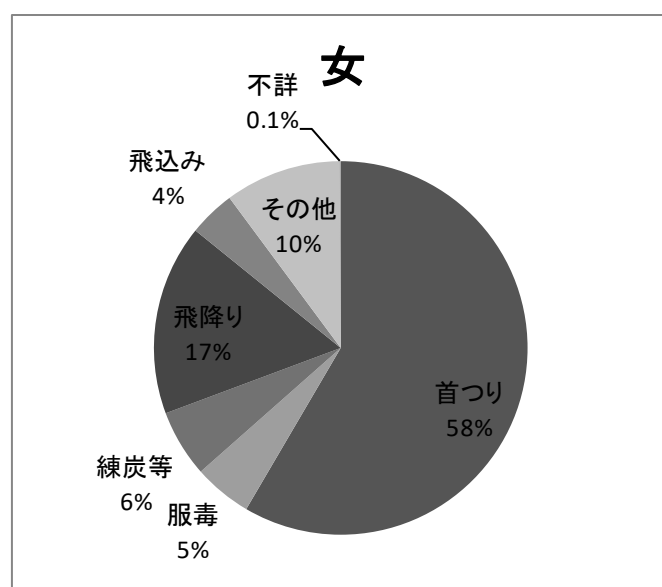
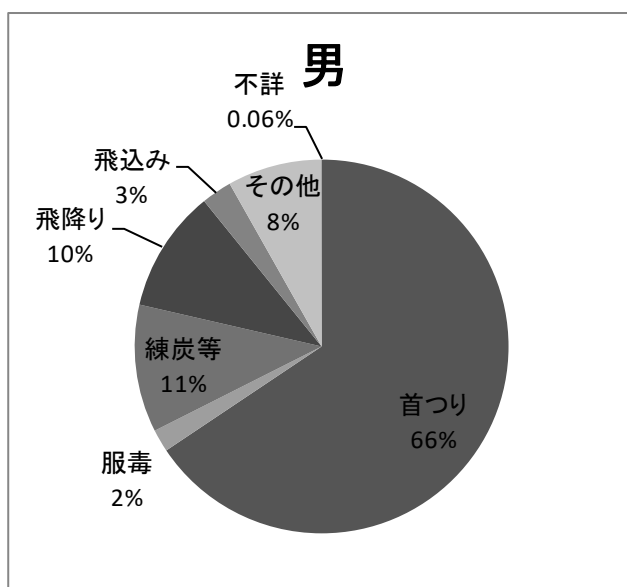
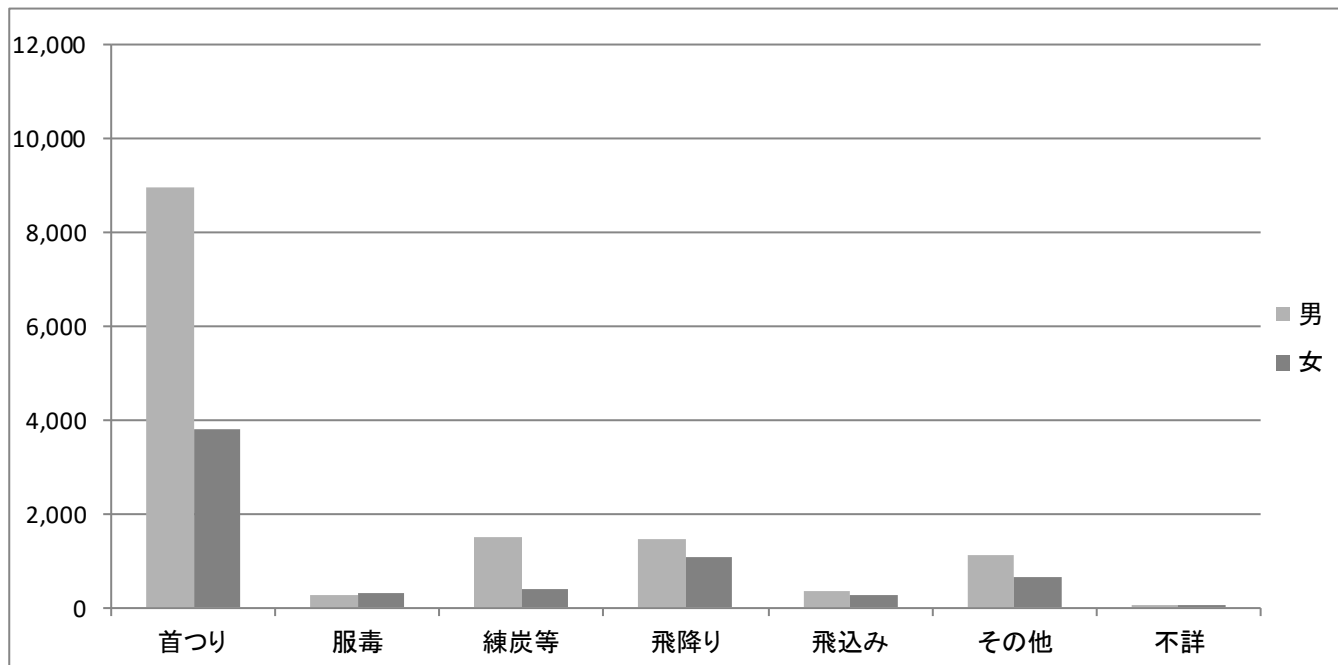
場所別・男女別自殺者数

場所	自宅等	高層ビル	乗物	海(湖)・河川等	山	その他	不詳	計
計	327	34	23	19	5	86	0	494
男	197	21	18	17	4	67	0	324
女	130	13	5	2	1	19	0	170

11－１．手段別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

手段別でみると、「首つり」が最も多く、次いで「飛降り」となっている。男女別でみると、男女ともに「首つり」が最も多く、次いで男性は「練炭等」、女性は「飛降り」となっている。

令和6年 手段別・男女別自殺者数(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」)・全国 (人)



手段別・男女別自殺者数

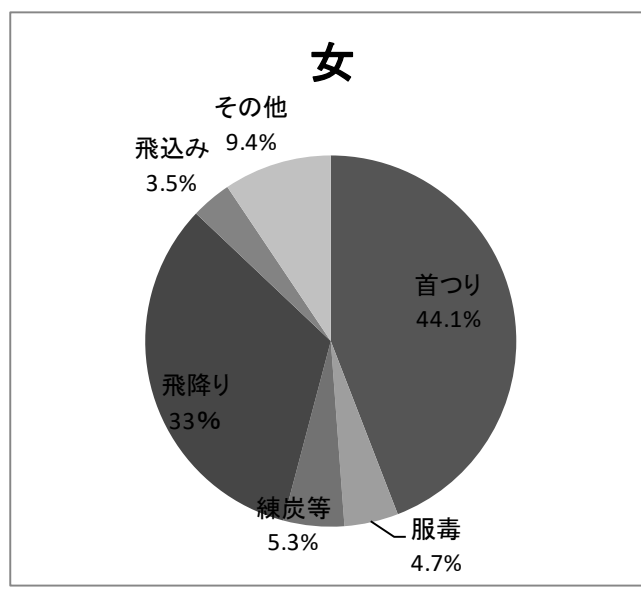
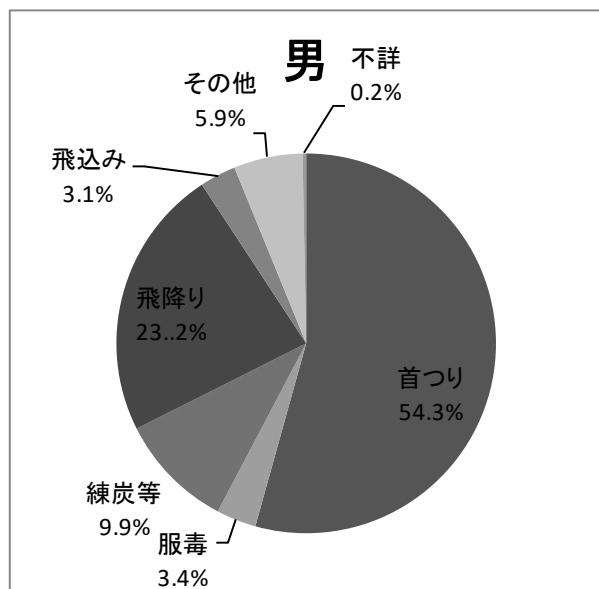
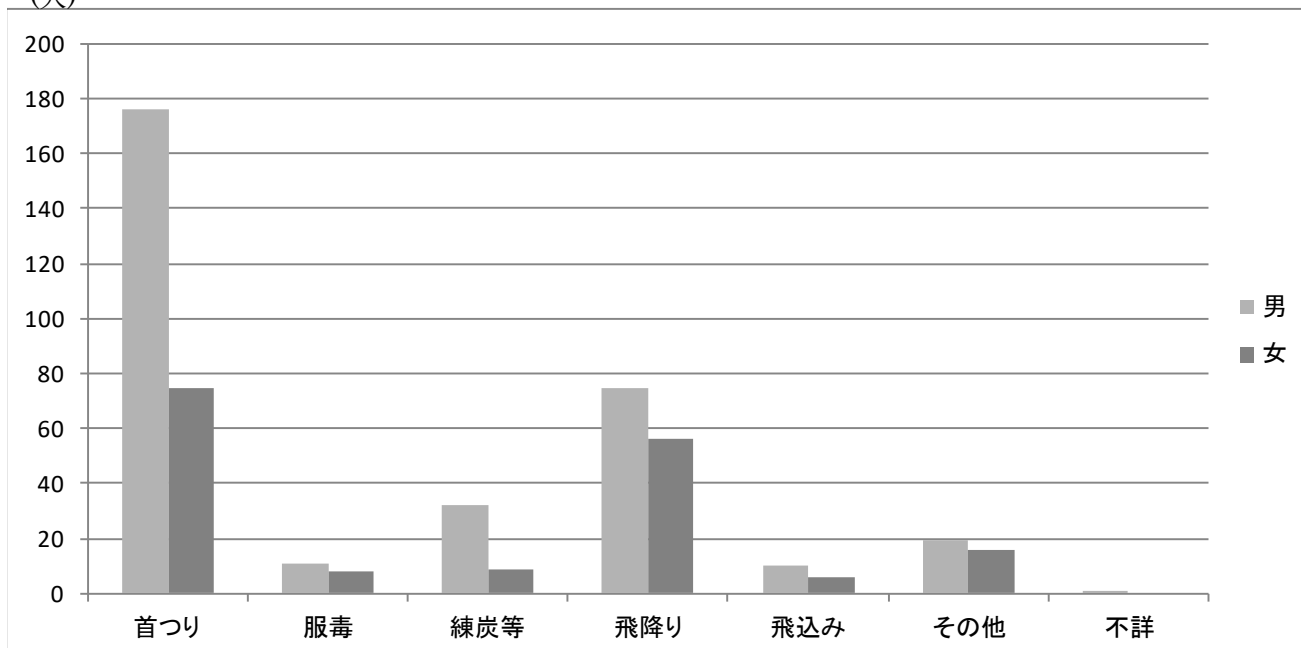
手段	首つり	服毒	練炭等	飛降り	飛込み	その他	不詳	計
計	12,734	593	1,883	2,513	620	1,759	15	20,117
男	8,946	266	1,505	1,443	359	1,108	8	13,635
女	3,788	327	378	1,070	261	651	7	6,482

11－2. 手段別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

手段別でみると、「首つり」が最も多く、次いで「飛降り」となっている。男女別でも同様となっている。

令和6年 手段別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

(人)



手段別・男女別自殺者数

手段	首つり	服毒	練炭等	飛降り	飛込み	その他	不詳	計
計	251	19	41	131	16	35	1	494
男	176	11	32	75	10	19	1	324
女	75	8	9	56	6	16	0	170

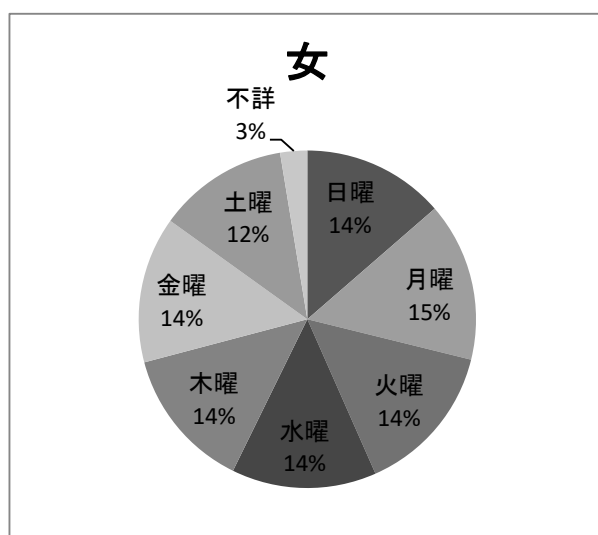
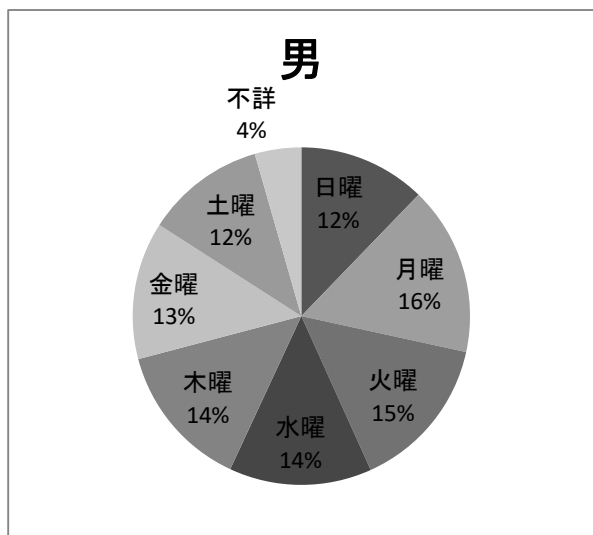
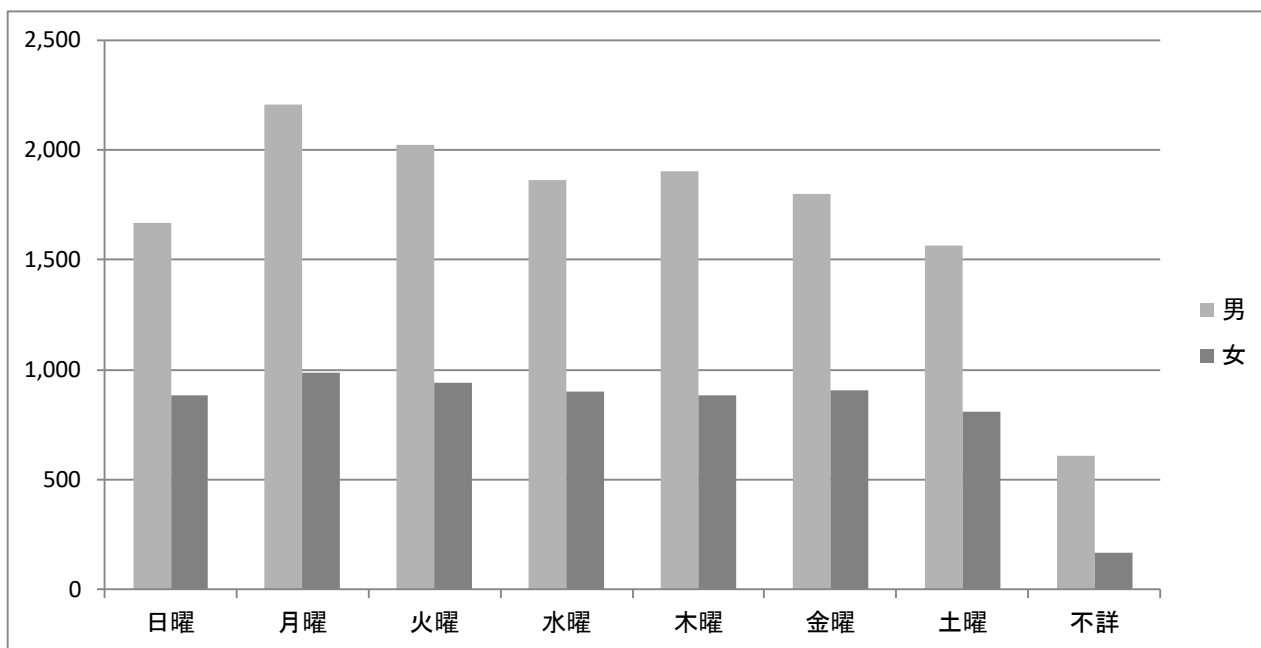
12-1. 曜日別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

曜日別でみると、「月曜日」が3,195人（16％）と最も多く、次いで「火曜日」、「木曜日」、「水曜日」、「金曜日」となっている。

男女別でみると、男性は「月曜日」、「火曜日」、「木曜日」の順に、女性は「月曜日」、「火曜日」、「金曜日」の順に多くなっている。

令和6年 曜日別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

（人）



曜日別・男女別自殺者数

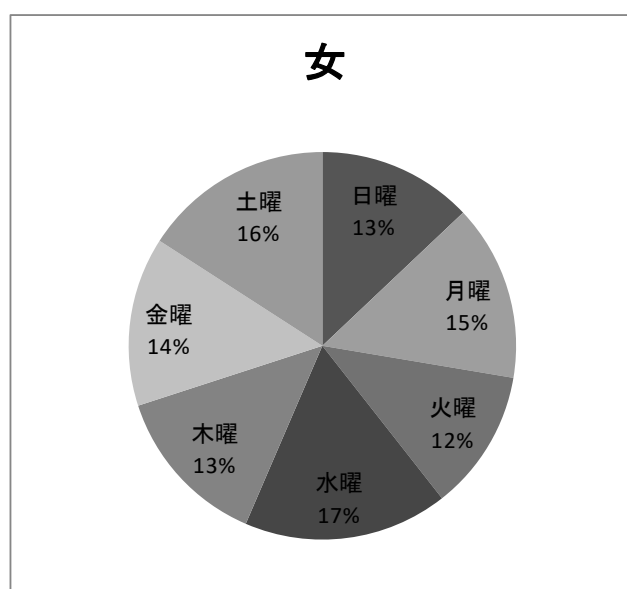
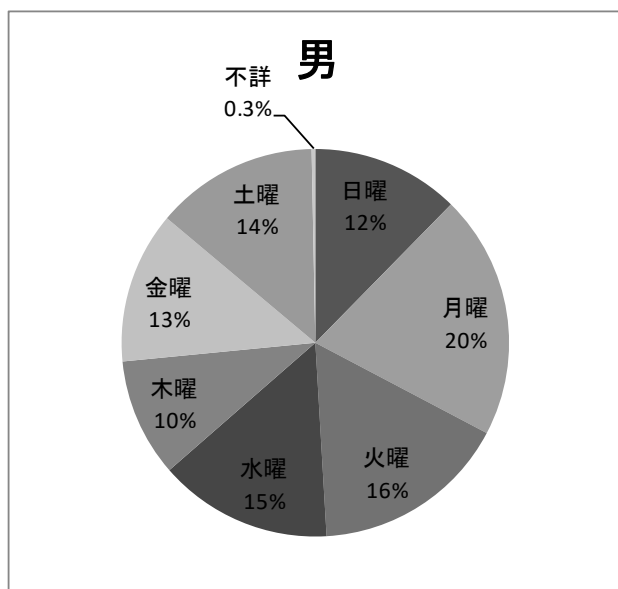
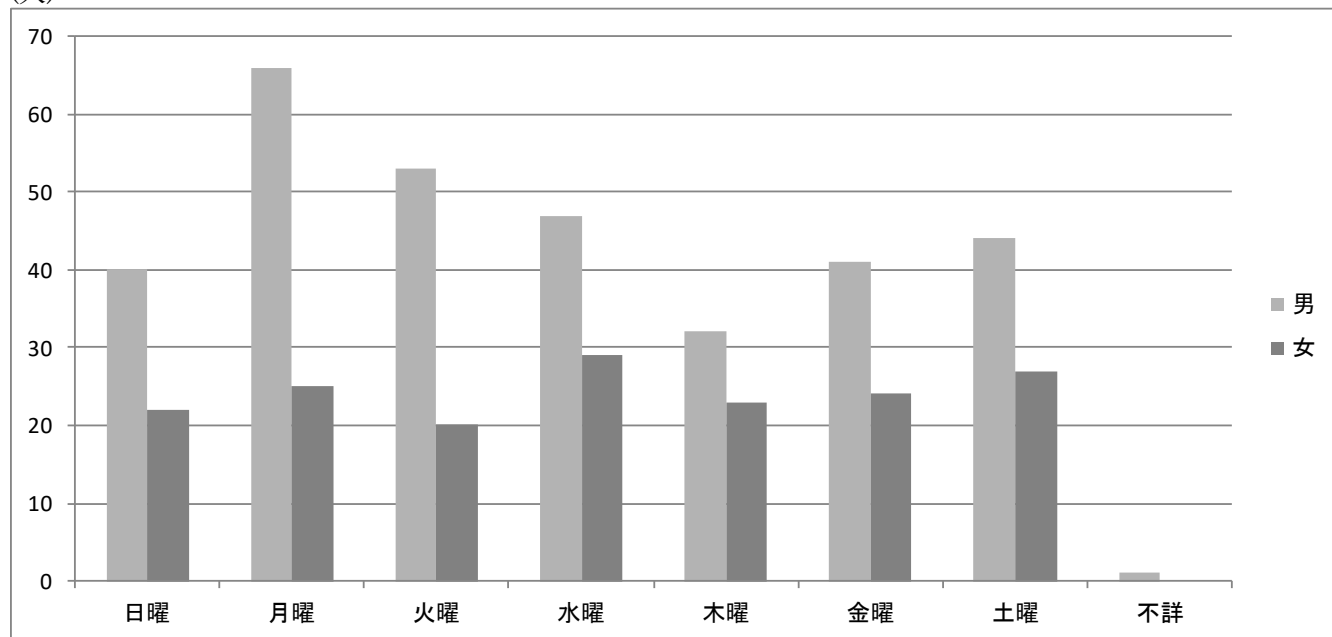
曜日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	不詳	計
計	2,550	3,195	2,965	2,764	2,788	2,706	2,374	775	20,117
男	1,667	2,208	2,023	1,864	1,905	1,797	1,564	607	13,635
女	883	987	942	900	883	909	810	168	6,482

12－2. 曜日別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

曜日別でみると、「月曜日」が91人（18％）と最も多く、次に「水曜日」、「火曜日」が多くなっている。

男女別でみると、男性は「月曜日」、「火曜日」、「水曜日」の順に、女性は「水曜日」、「土曜日」、「月曜日」の順に多くなっている。

(人) 令和6年 曜日別・男女別自殺者数(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」)・大阪市



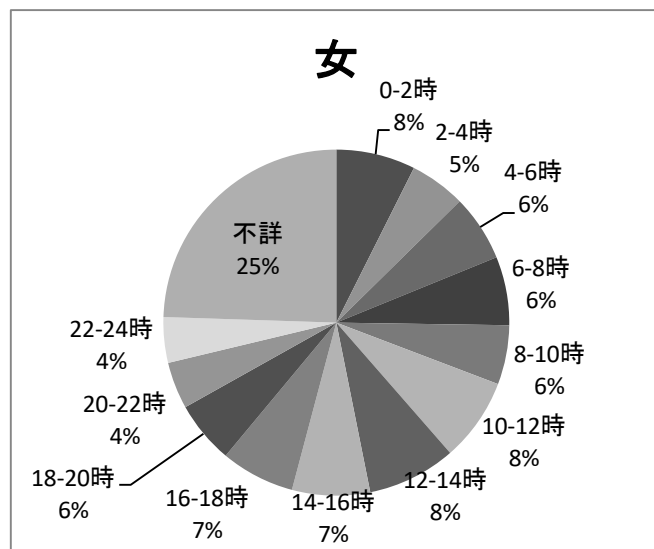
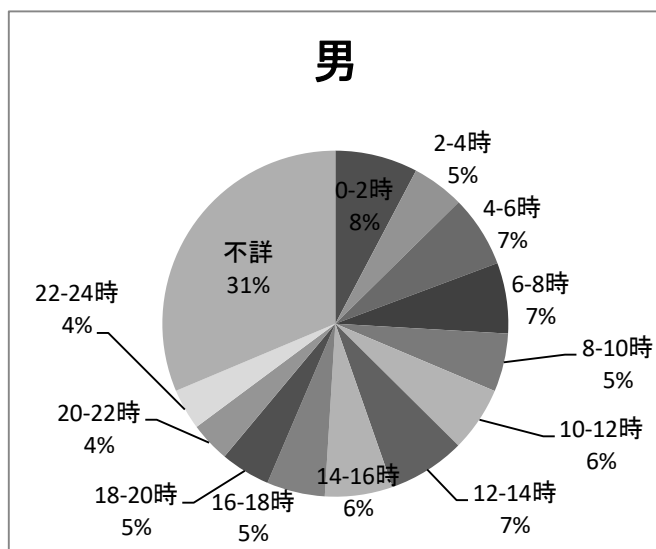
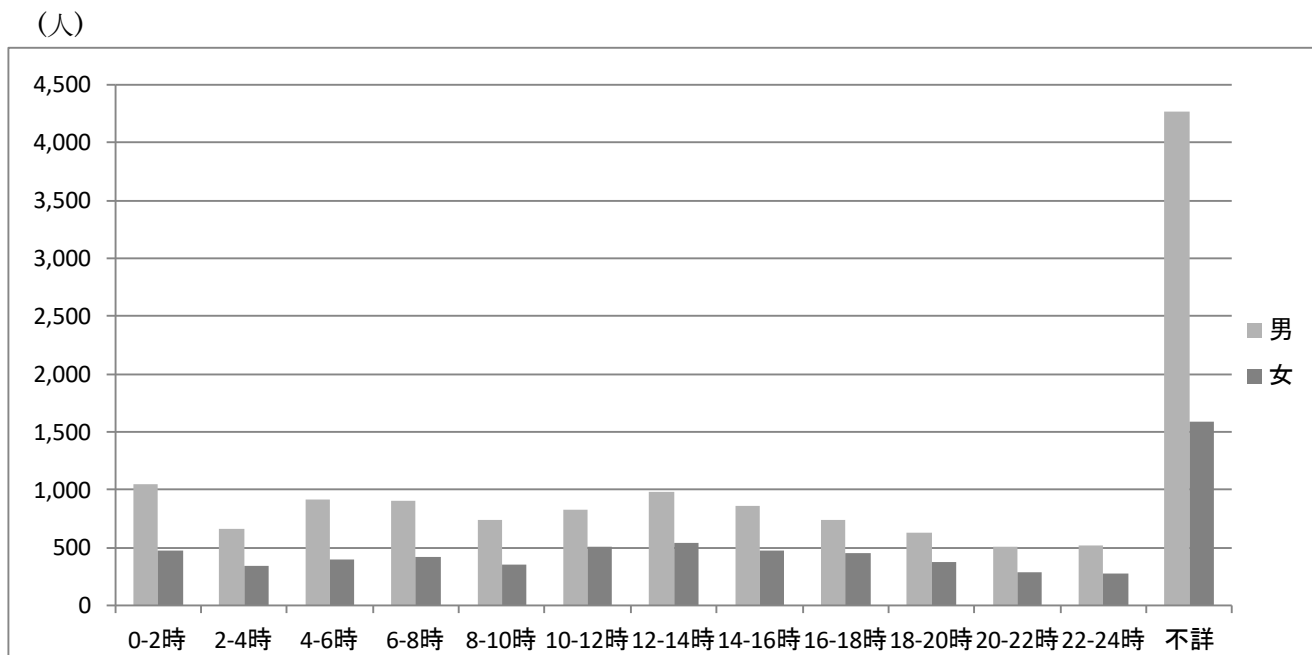
曜日別・男女別自殺者数

曜日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	不詳	計
計	62	91	73	76	55	65	71	1	494
男	40	66	53	47	32	41	44	1	324
女	22	25	20	29	23	24	27	0	170

13- 1. 発見時間帯別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・全国

自殺者を発見した時間帯別でみると、「0-2 時」が 1,533 人(7.6%)と最も多く、次いで「12-14 時」が 1,521 人(7.6%)となっている。男女別でみると、男性は「0-2 時」が 1,053 人(7.7%)、女性は「12-14 時」が 537 人(8.3%)と最も多くなっている。

令和6年 発見時間帯別・男女別自殺者数(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」)・全国



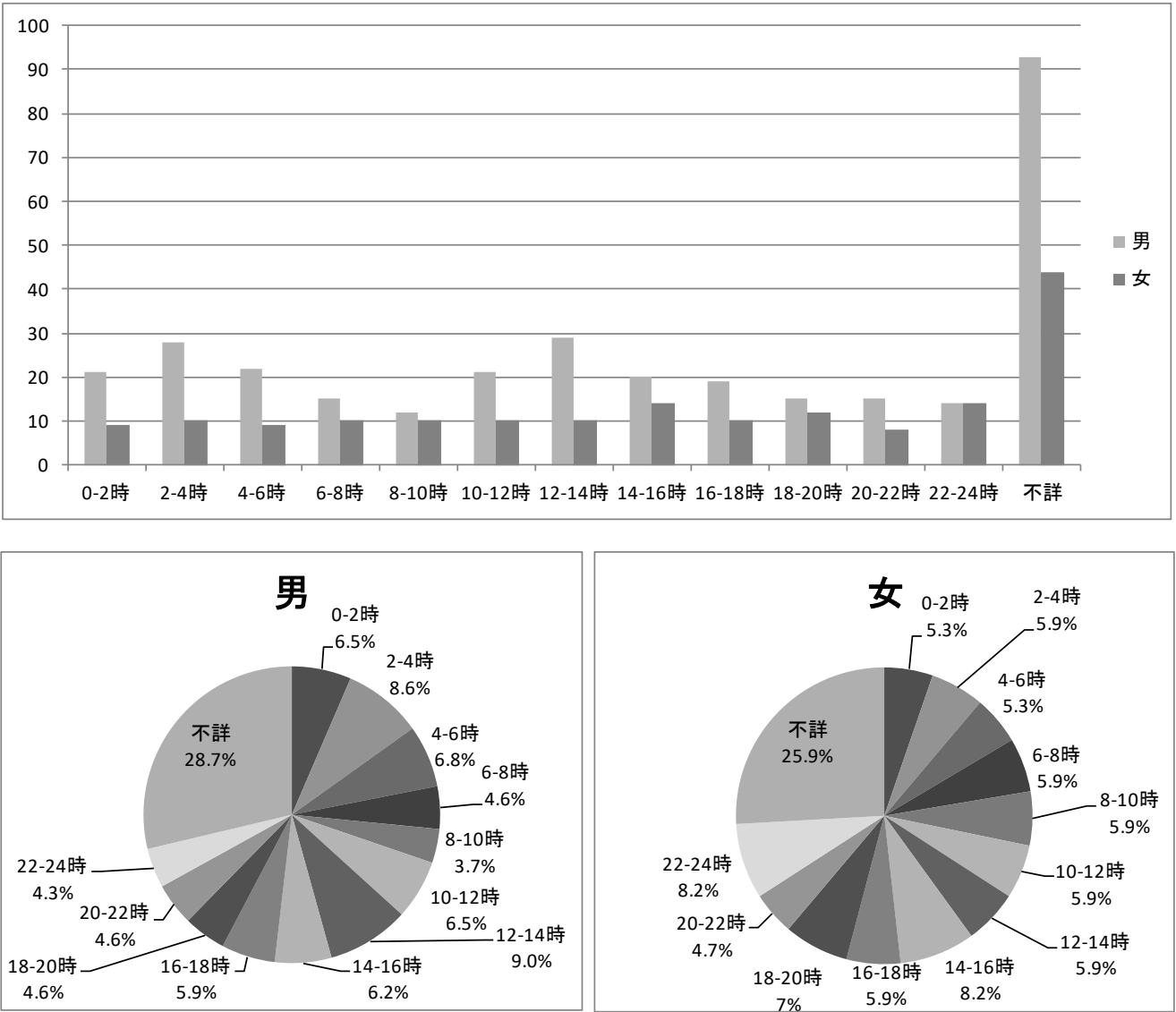
時間帯別・男女別

時間帯	0-2時	2-4時	4-6時	6-8時	8-10時	10-12時	12-14時	14-16時	16-18時	18-20時	20-22時	22-24時	不詳	計
総数	1,533	1,007	1,314	1,315	1,102	1,332	1,521	1,336	1,191	1,012	795	799	5,860	20,117
男	1,053	668	912	900	743	827	984	864	743	634	511	523	4,273	13,635
女	480	339	402	415	359	505	537	472	448	378	284	276	1,587	6,482

13－ 2. 発見時間帯別・男女別自殺者数（厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」）・大阪市

自殺者を発見した時間帯別でみると、「12-14 時」が 39 人(7.9%)と最も多く、次いで「2-4 時」が 38 人（7.7%）となっている。男女別でみると、男性は「12-14 時」が 29 人（9.0%）、女性は「14-16 時」及び「22-24 時」が 14 人（8.2%）と最も多くなっている。

令和6年 発見時間帯別・男女別自殺者数(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」)・大阪市
(人)



時間帯別・男女別

時間帯	0-2時	2-4時	4-6時	6-8時	8-10時	10-12時	12-14時	14-16時	16-18時	18-20時	20-22時	22-24時	不詳	計
総数	30	38	31	25	22	31	39	34	29	27	23	28	137	494
男	21	28	22	15	12	21	29	20	19	15	15	14	93	324
女	9	10	9	10	10	10	10	14	10	12	8	14	44	170